

九州作業療法学会2026

Kyusyu Occupational Therapy Congress 2026 in OKINAWA

The VALUE in 沖縄

まくとろそ〜け〜

なんくるないさ〜



沖縄のやちむんの円形模様は
「繋がり」「調和」の象徴。
作業療法は人を繋ぎ
地域に価値をもたらします。

会期: **2026年7月4日(土)・5日(日)**

会場: **那覇文化芸術劇場なは一と**

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27

学会長: 下里 綱 (一般社団法人沖縄県作業療法士会会長・医療法人おもと会大浜第一病院)

主 催: 九州作業療法士会会長会

carewill

ケアウィルは、対象者、医療・介護職の皆さんと福祉製品を共創しています

療法士
監修

GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞



川崎市 川崎市公募型福祉製品等開発委託
市政100周年記念事業

新色 ブラック、グリーン入荷！

東京
新聞
開発秘話



01

車いす利用者用晴雨兼用ウェア

詳細こちら



- 風でめくれない、蒸れない
上下分離式。空気が服の中に入らず、風でめくれず、蒸れません。
- 車輪とキャスターに巻き込まれない
足にしっかりフィットする膝かけと適度な丈のジャケットは車輪に巻き込まれません。
- 着る、脱ぐ、収納がラクラク
ファスナーがなく、ボタンは2個だけ。小さな動作で着脱、畳みが可能。
- 膝かけの多様な固定方法
上肢の可動制限と、車いすの形状に応じて6つの固定方法から選択。

特許・意匠取得



看護師・
療法士
監修

GOOD DESIGN AWARD
2025年度受賞

GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞

KIS かわさき基準
福祉製品2022

累計ご利用者

810名 162病院・施設突破

研究事例



02

楽に着用できるアームスリングウェア

NEW!!

モニター病院・施設を募集中！

詳細こちら



詳細こちら



- 一人で着脱ができる
片手で簡単に着れるデザイン。ボタンや留具もなく短時間で着脱。
- コーディネートしやすいデザイン
ネイビーとグレーの2色展開。外出着として装いを楽しんでいます。
- 肘をしっかり固定
シャツの肘部のループと中央ボタンを留めて肘を固定。腕がぐらつきません。
- 首を痛めず、疲れない
伸縮する生地全体で腕を支え、内部のゴム素材で腕の自重を両肩へ分散。
- 腕の位置を調整できる
シャツの大きなベルクロで、腕を保持する高さ、横の位置を自由に決められます。
- 肩まわりがあたたかい
ケーブルは、外気の侵入を防ぎ、秋冬、夏の冷房下も肩回りを保温。

特許・意匠取得



共同研究開発
大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
東京都市産業技術
研究センター



療法士
監修

GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

KIS かわさき基準
福祉製品2023

OMOTENASHI SELECTION
2022年度 ANA賞

累計ご利用数

17,000個突破

ハルメク

通販サイト
でも販売中！



ご自宅や施設で、洗濯の自立支援に

03

自立する、丸ごと洗えるランドリーバッグ

詳細こちら



- 丸ごと洗える脱衣かご
服をいれたら洗濯ネットとして洗濯機で丸洗い。乾燥機もOK。
- 洗濯の自立を支援
洗濯物の仕分けと移し替えが不要。独力による洗濯を支援します。
- 洗濯ものが絡まない
芯材がバッグ内の空間を維持し、服の絡みや傷みを軽減。
- プライバシーを守り、紛失防止
中が透けないので持ち歩きも安心。施設での衣類の紛失防止にも。

特許・意匠取得



医療・介護職、医療・介護系
法人経由のご購入なら..



全品 35%OFF

病院・施設からのご紹介で
無料サンプルいつでもお試しできます！

全国どこでも3日以内にお届け
お申し込みは30秒で完了

お申込は
こちら→



THANK YOU
COUPON

いますぐ使える 15%OFF クーポンをプレゼント
以下のクーポンコードをご利用ください

15
%OFF



ご利用サイト

クーポンコード

carewill
ケアウィル本店

39154

amazon
ケアウィル
アマゾン本店

AM391503

INDEX

○ 学会長挨拶	1
○ 会場案内	2
○ 会場へアクセス	4
○ 参加者の皆様へ	5
○ 座長の皆様へ	8
○ 発表者の皆様へ	8
○ 日程表	12
○ プログラム	14
○ 講 演	
基調講演	18
特別講演	20
市民公開講座	22
モーニングセミナー	24
教育講演 1	26
教育講演 2	28
教育講演 3	32
教育講演 4	34
教育講演 5	38
○ シンポジウム	
シンポジウム①	42
シンポジウム②	48
シンポジウム③	54
○ 九州作業療法士会会長会	
九州MTDLP委員会	62
リーダー養成研修	64
○ 一般演題	66
○ 運営組織図	77
○ 後援団体一覧	78



学会長挨拶

The Value

～まくとぅそーけー なんくるないさ～

下里 綱

九州作業療法学会2026in沖縄 学会長
一般社団法人 沖縄県作業療法士会 会長



九州作業療法学会2026 in沖縄の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

本大会のテーマは、「THE VALUE ～まくとぅそーけーなんくるないさ～」です。本学会は学術大会であると同時に、九州各県の仲間が一堂に会し、互いに学び、語り合い、そして次の一步を踏み出す“お祭り”のような場でもあります。作業療法の魅力を発信し、私たち自身が楽しく学ぶ姿を分かち合うこと。その熱量こそが、この学会の醍醐味であり、私たちの原動力だと考えています。副題の「まくとぅそーけーなんくるないさ」は、「正しいことをしていれば、あとは何とかなる」という沖縄の言葉です。しかしそれは、単なる楽観や根拠のない前向きさを意味するものではありません。「まくとぅ（誠・真）」とは、嘘偽りなく、誠実に、筋を通して生きるということです。「そーけー」はそれをしっかりと実行すること。その積み重ねの先に「なんくるないさ（きっと良い方向に向かう）」があるという教えです。つまり、結果を焦るのではなく、制度や環境に振り回されるのでもなく、目の前の一人ひとりの生活に誠実に向き合う。その積み重ねこそが、やがて社会を動かし、未来を切り拓く力になるという沖縄の人生哲学である、と私は理解しています。

さて、医療・介護を取り巻く環境は、いま確実に大きな転換点にあります。病院や介護・福祉事業所の経営は決して安泰ではなく、人材不足は依然として深刻です。看護師や介護福祉士の不足に加え、リハビリテーション業界、とりわけ作業療法士の不足は年々顕著になっています。需要は高まる一方で、現場の負担は増し、将来への不安を感じる声も少なくありません。明るいニュースばかりとは言えない現実があります。しかし、だからこそ私たちは下を向いているわけにはいきません。私たちは明るく、前向きに、困難な時代にこそ真価を発揮する専門職でありたいと思います。人の生活に寄り添い、その人らしさを支える作業療法は、社会がどのように変化しようとも必要とされる仕事です。その専門性をどう磨き、どう次世代へつなぐかが、いま私たちに問われています。現世代が「作業療法士になりたい」と心から思える環境を創り出すことも、私たちの重要な使命です。そのためには、やりがいを伝え、挑戦を楽しみ、学び続ける姿を示すことが何よりのメッセージになります。九州の作業療法士には、そのエネルギーと情熱があります。学びを楽しみ、議論を楽しみ、再会を楽しみ、未来を語る。その姿そのものが、作業療法（士）の「VALUE＝価値」ではないでしょうか。

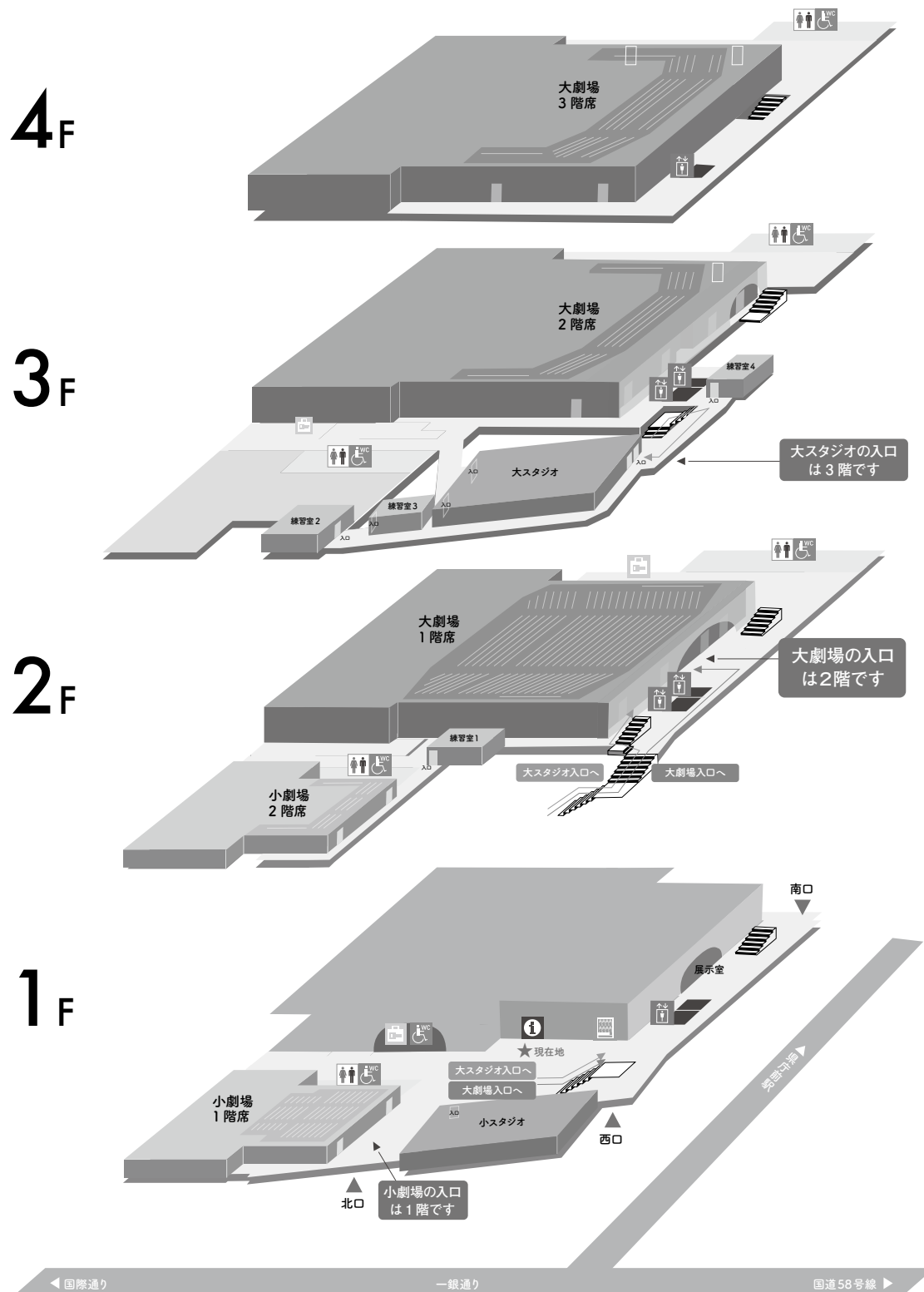
沖縄での開催だからこそ、学びとともに、この島の自然や文化もぜひ体感していただきたいと思います。青く透き通る海、独自の歴史と文化、そして温かな人々。泡盛やオリオンビールを囲みながら、ゴーヤーチャンプルー、ラフテー、ソーキそばを味わい、仲間と語り合う時間。その体験は、生活の豊かさをあらためて実感させ、作業療法の価値を再発見する力になるはずです。

本大会を、九州から全国へ発信する“祭典”のような学会にしたいと考えています。困難な時代であっても、明るく、前向きに。まさにその姿勢こそが、作業療法士の真の価値であり、未来を切り拓く力だと信じています。九州・沖縄の仲間とともに、新たな「THE VALUE」を創り上げるこの機会を、心から楽しみにしております。皆さまと沖縄でお会いできることを、心よりお待ち申し上げます。

会場案内

那覇文化芸術劇場なはーと

FLOOR GUIDE フロアガイド



自動販売機

総合案内

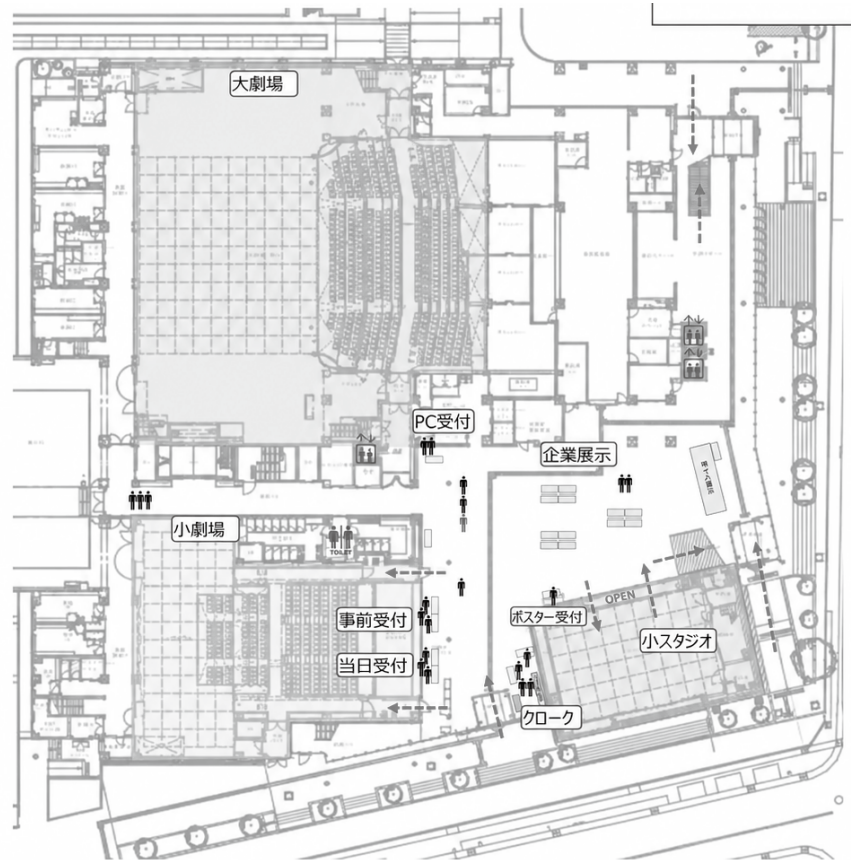
無料コインロッカー

エレベーター

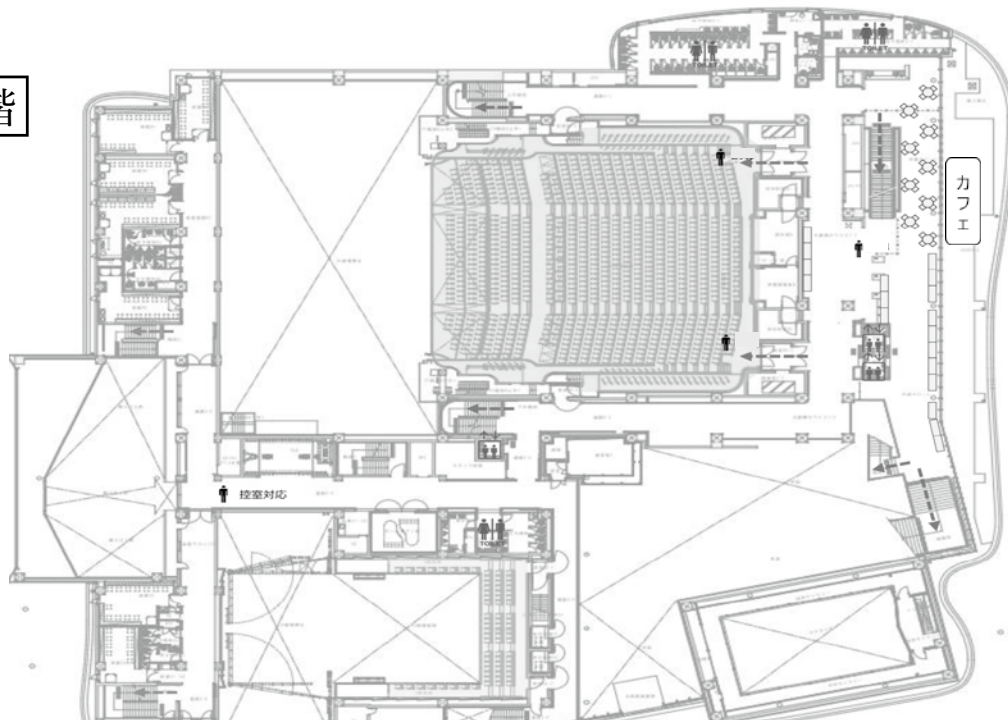
会場案内

那覇文化芸術劇場なはーと

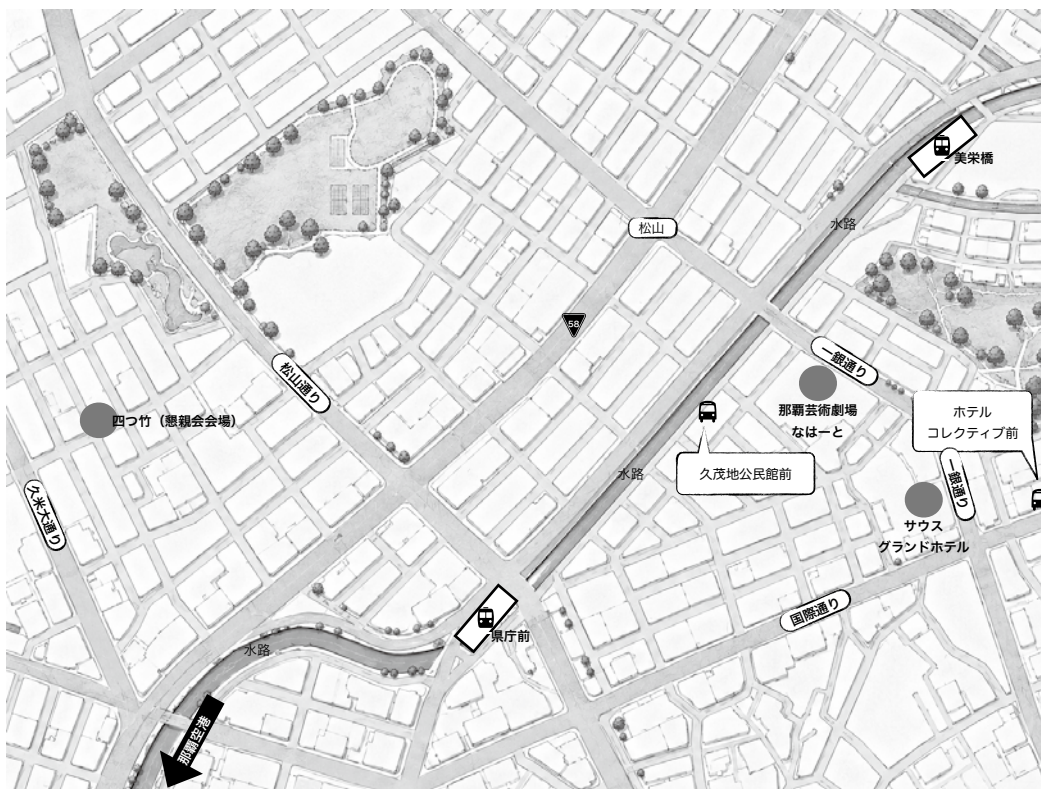
1 階



2 階



会場へのアクセス



最寄のアクセス

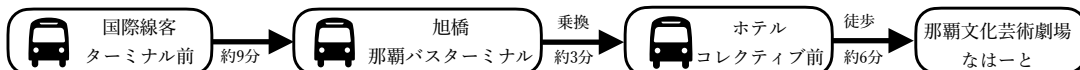
- 『那覇文化芸術劇場なはーと』→『サウスグランドホテル』：徒歩約2分
『美栄橋（モノレール駅）』→『那覇文化芸術劇場なはーと』：徒歩約6分
『県庁前（モノレール駅）』→『那覇文化芸術劇場なはーと』：徒歩約6分
『久茂地公民館前（バス停）』→『那覇文化芸術劇場なはーと』：徒歩約3分
『ホテルコレクティブ前（バス停）』→『那覇文化芸術劇場なはーと』：徒歩約6分

那覇空港からお越しの方

モノレール



バス



参加者の皆様へ

1. 学会参加費

(1) 作業療法士 (○：加入、×：未加入)

都道府県士会	日本OT協会	参加受付	圏域	金額	
				1日目～参加	2日目参加
○	○	事前登録	九州圏内	6,000円	3,000円
			九州圏外	7,000円	—
		当日	九州圏内	7,000円	4,000円
			九州圏外	7,000円	—
×	○	事前登録	九州圏内	12,000円	—
			九州圏外		—
		当日	九州圏内	12,000円	—
			九州圏外		—
○	×	事前登録	九州圏内	6,000円	3,000円
			九州圏外	7,000円	—
		当日	九州圏内	7,000円	4,000円
			九州圏外	7,000円	—
×	×	事前登録	九州圏内	20,000円	—
			九州圏外		—
		当日	九州圏内	20,000円	—
			九州圏外		—

(2) 他職種等

※学生は OT養成コース所属の方のみとします。OT免許取得者で学生（学部生・大学院生）の方は、会員 OTとしての参加費をお支払いください。他職種の方は、所属する職能団体の会員証、または職種を確認できるものをご提示ください。

	参加受付	金額
		両日参加
他職種	事前登録	7,000円
	当日	7,000円
一般	事前登録	7,000円
	当日	7,000円
学生	事前登録	1,000円
	当日	1,000円

2. 事前参加登録について

本学会では、下記期間に事前参加登録を受け付けます。

学会当日に会場で参加申込みをすることも可能ですが、できる限り事前登録にご協力ください。

事前参加登録期間： 3月24日（火）～6月27日（土）正午まで

3. 学会当日の参加受付について

【受付 場所】 那覇文化芸術劇場なはーと 1階ロビー

【受付 時間】 1日目：令和8年7月4日（土） 9：00～

【受付 方法】

〈事前参加登録をされた方〉

1) 受付に必要なもの

①会員証 「2026年度日本作業療法士協会会員証」及び「各都道府県士会会員を証明できるもの」

②事前参加登録メール 当日は QR コードにて受付を行います。

※事前参加登録後に配信される事前参加登録メールにある参加受付用 QR コードをプリントアウトしてご持参していただくか、お手持ちの端末で画面表示した状態で当日会場受付にてご提示ください。

2) 当日の流れ

①受付にて QR コード読み込み

②ネームカード記載 参加登録後にネームカードをお渡ししますので、ご自身で記載をお願いいたします。

③参加証明証と領収証については、事前参加登録のPayventから各自ダウンロードしてください。なお、参加証明書は当日の受付終了後からダウンロード可能となります。

〈事前参加登録をされていない方〉

1) 受付に必要なもの

会員証 「2026年度日本作業療法士協会会員証」及び「各都道府県士会会員を証明できるもの」 他職種の方は、所属する職能団体の会員証、または職種を確認できるものをご提示ください。

2) 当日の流れ

①当日受付にて参加申し込み・参加費支払 本学会は現金でお支払いができません。当日、Payventもしくはお振込みのみ対応いたします。

②ネームカード記載 参加登録後にネームカードをお渡ししますので、ご自身で記載をお願い致します。

4. 学会誌・抄録について

会場での印刷サービス等は実施しておりません。各自、学会ホームページから抄録をダウンロードしてください。学会誌をお求めの方には、受付にて1,500円で販売いたします。但し、在庫がなくなり次第販売を終了します。

5. 会場内サービスについて

【クローク】

場 所：1F 大ホール入口

日 時：令和8年7月4日 9：00～19：00 7月5日 9：00～14：00

※貴重品、雨具、ワレモノ、食品類はお預かりできませんのでご了承ください。

【飲 食】

大劇場、小劇場内での飲食はできません。昼食または休憩は劇場外の会場またはロビーをご利用ください。

【駐車場】

近隣の有料駐車場をご利用ください。

6. 留意事項

【ネームホルダーの携帯】

会場内では必ずネームホルダーを身に付けてください。ネームホルダーを身に付けていない場合は、入場をお断りする場合があります。

【携帯電話の使用】

携帯電話につきましては会場内では必ずマナーモードに設定してください。
通話につきましては、発表会場やポスター発表会場の外でお願いいたします。但し、運営委員は運営上使用する場合がありますのでご了承ください。

【撮影および録音】

会場内での録音、写真、ビデオ撮影等は、著作権保護・プライバシー保護などのため、禁止させていただきます。但し、運営委員は学会記録用として会場内で録音又は撮影をする場合があります。

7. 閉会式および優秀演題表彰

閉会式にて、優秀演題の表彰を行います。多数の方にご参加いただきますようお願いいたします。



座長の皆様へ

1. 事前の準備

- 1) 6月14日（金）正午までに、学会ホームページより事前参加登録をお済ませください。
- 2) 学会ホームページおよび学会誌で担当セッションの会場・時間等をご確認ください。学会誌はHPにて公開しますので、各自ご確認ください。

2. 当日について

- 1) 会場入り口の1階ロビーにて当日受付を済ませ、担当セッション開始1時間前までに会場前の座長受付にお越しください。
- 2) 担当セッションの開始10分前までに、会場内の座長席近くにお座りになってお待ちください。
- 3) 担当セッションの進行については、すべて座長に一任いたします。なお、1演題の発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。発表終了1分前と終了時に係が合図をします。

発表者の皆様へ

1. 事前の準備

6月27日（土）正午までに、学会HPよりオンライン参加登録を済ませて下さい。学会誌の配布はありません。学会ホームページで発表セッションと時間をご確認ください。

2. 発表者受付について

1階ロビーにて参加受付を済ませた後に、担当セッション開始時刻1時間前までに 各会場の発表者受付にて受付を行ってください。

3. 利益相反の開示

当学会では、演題発表時に演題発表に関連する企業等との COI の有無および状態について申告することを以下に義務づけます。発表時に利益相反の有無についても述べてください。

〈学会発表における利益相反の掲示方法〉

口述発表（および優秀演題発表）は演題名の次（2枚目）のスライドで開示すること。ポスター発表はポスターの最下部に開示すること（ポスターレイアウトを参照）。

利益相反のスライド見本につきましては、HP よりダウンロードしてください。

4. 演題内容に関わる倫理的事項について

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省及び経済産業省。令和4年3月10日一部改正）などを遵守し、発表の際に倫理的配慮が必要な場合は口頭で述べてください。

5. 口述発表（および優秀演題発表）

1) 口述発表の環境・手続きについて

- ① 映写面は各会場ともに1面です。
- ② 会場で用意しているパソコンを使用し、スライドを映写して発表となります。ご自身の PC の持ち込みはできません。発表はPC プレゼンテーション（OS：Windows、ソフトウェア：Microsoft Office PowerPoint 2011以降のバージョン）のみとします。こちらで準備しているパソコンの OS は Windows のみです。Mac でスライドを作成する場合は、Windows で正しく稼動することを事前に確認をしておいてください。発表時に不具合が生じた場合、運営側での責任は負いかねますので、ご了承ください。
- ③ スライドサイズは、標準（16：9）設定にしてください。
- ④ 発表用スライドは、DropBoxを使用した事前提出です。（トラブルに備えてバックアップデータもご持参ください）。発表データの保存ファイル名は、「演題番号 - 氏名 - 所属」としてください。（例：O18-九州花男- ○○病院）バックアップデータとして使用するUSB等、必ずウイルス対策ソフトにてチェックを行ったものをご提出ください。
- ⑤ 学会当日、各自で動作確認をお願いします。発表用データは、会場内の PC にコピーさせていただきますが、学会終了後に責任を持って消去します。
発表者は会場にてスライドの動作チェックを行うことができます。
 - ・7月4日発表者：9：00～11：00
 - ・7月5日発表者：13：30～16：301階ロビーに動作チェックスペースを用意いたしますのでご利用ください。
- ⑥ アニメーションや動画を用いた発表も可能です。使用は MPEG3, MPEG4, WMV のみとします。ただし、発表時に不具合が生じた場合、運営側での責任は負いかねますので、ご了承ください。
- ⑦ フォントは OS 標準 ※のみご使用ください。
 - ※ MSゴシック、MSPゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman発表時のレーザーポインターは使用できません。マウスによるポインターをご使用ください。
- ⑧ 発表時は発表者ツールを使うことはできません。

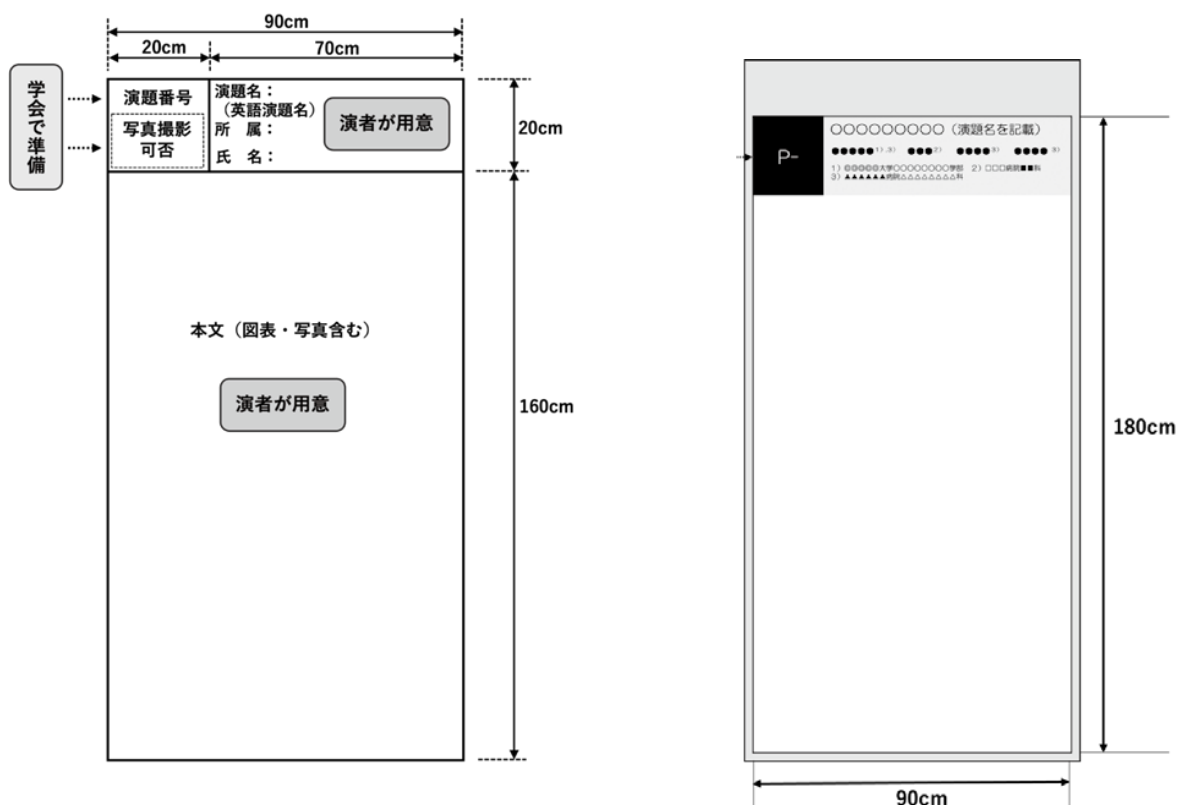
2) 発表の流れについて

- ① 発表するセッションの10分前には「次演者席」に着席してください。発表および質疑応答は座長の指示に従ってください。
- ② 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。発表終了1分前と終了時に合図をします。時間遵守をお願いします。
- ③ 発表は、舞台上にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用してご自身で操作してください。

6. ポスター発表

1) ポスターの作成（フォーム）について

ポスターの示説スペースは、縦160cm、横90cm内です。図を参考にして、各自で演題名・所属・氏名（縦20cm、横70cm）を作成してください。ポスターの本文（図表・写真含む）は、文字サイズ・フォントの種類、図表・写真の枚数は特に定めませんが、必ず指定のスペースに収まるように作成してください。



2) ポスター掲示について

学会では以下のものをご用意いたしますので、各自でポスターの掲示をお願いします。

- ・ 掲示パネル
- ・ 演題番号
掲示パネルの左上部に演題番号を取り付け表示します。
- ・ 画鋲
ポスターを貼り付けるための画鋲・ピンをご用意いたします。
- ・ 写真撮影可否シール
演題番号下部に貼り付けてください。
- ・ ポスターの貼り付けは下記の時間内に各自でお願いします。

< 掲 示 >

令和8年7月4日 (土) 9:00~10:00

< 撤 去 >

令和8年7月4日 (土) 18:00~18:30

※ポスターの撤去は、時間内に各自でお願いします。指定時間以降も掲示されているポスターは、学会運営局にて処分いたします。

3) 発表の流れについて

- ①発表者は担当セッション開始10分前までに各自のポスター前に待機してください。
- ②今回の発表は、指定された時間内にポスターの前に立ち、参加者と自由にディスカッションしていただく形式となります。
- ③発表者は当該セッションの時間中、ポスター前から離れないようにしてください

4) 発表ポイント

筆頭演者は2ポイントの生涯教育基礎研修ポイントが付与されます。認定作業療法士の方は、更新要件の実践報告（25np）として登録できます。

演題採択後、

- ①2026年度の九州各県士会会費の納入
- ②学会への参加申込みおよび学会参加費の支払い
- ③発表をもって、本学会でのポイント付与とします。

5) 代理発表について

原則、筆頭演者の変更は認めません。不測の事態により筆頭演者が発表できない場合は、共同演者が代理での発表ができるように準備をお願いします。この場合は、共同演者による代理発表として取り扱います。代理発表ができない場合は演題を取り下げさせていただきます。

6) 演題に関するお問い合わせ

その他、演題に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

九州作業療法学会2026in沖縄

学術局長 安村 勝也

査読部長 宗像 暁美

E-mail（演題査読班）：kyuotendai2026@gmail.com



日 程 表

学会1日目：7月4日（土）

	大劇場	小劇場	大スタジオ	小スタジオ	サウスグランド ホテル
9:00	受 付				
10:00	開会式 10:00-10:30			ポスター掲示 9:00-10:30	
11:00	学会長講演 10:30-11:00				
12:00	基調講演 11:00-12:00 大嶋伸雄先生 座長：下里綱				
13:00	教育講演 1 12:40-13:40 寺岡睦先生 座長：上江洲聖		口述発表I 12:10～13:10 座長：玉那覇迅		教育講演 5 12:10-13:10 林雅憲先生 座長：宗像暁美
14:00	特別講演 13:50-14:50 吳屋英樹先生 座長：比嘉靖	シンポジウム① 13:00-14:30 河合晶子先生 安次富麻紀先生 德里尚美先生 座長：吉岡美和	優秀演題 13:20～14:20 座長：下里綱	ポスター発表I 13:00～14:00	MTDLP企画 13:25～14:55 藤本一博先生 座長：宮城志郎
15:00	シンポジウム③ 15:00-16:30 宇田薫先生 山田玄太先生 光永清先生 座長：澤田歩	シンポジウム② 14:45-16:15 金子茂穂先生 田村浩介先生 佐藤美奈先生 座長：坂本将史	口述発表II 14:30～15:30 座長：宮城若子	ポスター発表II 14:10～15:10	
16:00			口述発表III 15:40～16:40 座長：渡久地潤也	ポスター発表III 15:20～16:20	教育講演 2 15:10～16:40 宮崎宏興先生 仲地宗幸先生
17:00	市民公開講座 16:45-18:00 三代達也先生 座長：下里綱				
18:00				ポスター撤去 18:00-18:30	

日 程 表

学会2日目：7月5日（日）

	大劇場	小劇場	大スタジオ	小スタジオ	サウスグランド ホテル
9:00	モーニング セミナー 9:15～10:00 山本伸一先生 座長：新里光	口述発表IV 9:10～10:10 座長：名嘉真卓	口述発表V 9:10～10:10 座長：金城正也		
10:00					
11:00	教育講演 3 10:15～11:15 高橋香代子先生 座長：長濱裕樹	口述発表VI 10:20～11:20 座長：坂田美紀	口述発表VII 10:20～11:20 座長：木下匠	リーダー 養成研修 10:15～11:45	
12:00	教育講演 4 11:30～12:30 岩永竜一郎先生 仲間知穂先生 座長：比嘉彩乃	口述発表VIII 11:30～12:30 座長：玉城高信	口述発表IX 11:30～12:30 座長：土田真也		
13:00	閉会式 12:45～13:15				
14:00					
15:00					
16:00					
17:00					
18:00					

詳細プログラム

学会長講演

7月4日（土） 10：30～11：00 大劇場

The Value ～まくとうそーけー なんくるないさ～

下里 綱 一般社団法人 沖縄県作業療法士会会長、医療法人 おもと会 大浜第一病院

基調講演

7月4日（土） 11：00～12：00 大劇場

座長 下里 綱（一般社団法人 沖縄県作業療法士会会長、医療法人 おもと会 大浜第一病院）

変わる社会、変わらぬ作業療法の価値 ～国民のWell-beingのために～

大嶋 伸雄 一般社団法人 社会作業療法士協会 代表理事

特別講演

7月4日（土） 13：50～14：50 大劇場

座長 比嘉 靖（沖縄県立北部病院）

いのちを救う医療から、生活を支える医療へ ～小児科医から見た「作業療法の価値」～

呉屋 英樹 いきがい在宅クリニック

市民公開講座

7月4日（土） 16：45～18：00 大劇場

座長 下里 綱（一般社団法人 沖縄県作業療法士会会長、医療法人 おもと会 大浜第一病院）

車いすトラベラー × 作業療法

～世界はもっと、広げられる。限界を越える挑戦と「作業」の価値～

三代 達也

モーニングセミナー

7月5日（日） 9：15～10：00 大劇場

座長 新里 光（医療法人 おもと会 大浜第一病院）

作業療法の「価値」 ～未来への挑戦、今こそ真価が問われている～

山本 伸一 一般社団法人 日本作業療法士協会 会長

詳細プログラム

教育講演 1

7月4日（土） 12：40～13：40 大劇場

座長 上江洲 聖（株式会社 いきがいきクリエイション）

作業療法の価値を、どう説明するか ～作業機能障害とOBP2.0から考える実践の言語化～

寺岡 睦 吉備国際大学 人間科学部人間科学科 作業療法学専攻・准教授

教育講演 2

7月4日（土） 15：10～16：40 サウスグランドホテル

生きづらさに寄り添う作業療法 ～交わりと相互理解から生まれる共生～

宮崎 宏興 特定非営利法人 いねいぶる 理事長

仲地 宗幸 合同会社 キングコング 代表

教育講演 3

7月5日（日） 10：15～11：15 大劇場

座長 長濱 裕樹（医療法人 下地診療所 機能特化型デイサービス アルケー・クラセー那覇）

10年後を見据えた身体障害領域の作業療法のあり方

高橋 香代子 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻・教授

教育講演 4

7月5日（日） 11：30～12：30 大劇場

座長 比嘉彩乃（株式会社 いきがいきクリエイション）

先生とこどもの“作業”を支える学校作業療法
～学校という現場で、専門性はどう活かすか～

岩永 竜一郎 長崎大学生命医科学域教授 長崎大学子どもの心の医療・教育センターセンター長

仲間 知穂 YUIMAWARU株式会社代表

教育講演 5

7月4日（土） 12：10～13：10 サウスグランドホテル

座長 宗像 暁美（学校法人 智帆学園 琉球リハビリテーション学院）

司法領域における作業療法の役割と今後の展望

林 稚憲 法務省 府中刑務所

詳細プログラム

シンポジウム①

7月4日（土） 13：00～14：30

小劇場

座長 吉岡 美和（医療法人 おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院）

問い続ける認知症支援 ～作業療法士が向き合う現場と未来～

河合 晶子 藤田医科大学 七栗記念病院 地域包括支援センター

安次富 麻紀 医療法人 アガベ会 新オレンジサポート室

徳里 尚美 医療法人 天仁会 天久台病院

シンポジウム②

7月4日（土） 14：45～16：15

小劇場

座長 坂本 将吏（認定NPO法人 侍学園 スクオーラ・今人 沖縄校）

共生社会のトップランナーリレーセッション ～作業療法のこれからの価値を考える～

田村 浩介 株式会社いきがいクリエーション 代表取締役

金子 茂穂 株式会社 WONDER未来図 代表取締役

佐藤 美奈 株式会社 フィールド ブルースター

シンポジウム③

7月4日（土） 15：00～16：30

大劇場

座長 澤田 歩（地方独立行政法人 那覇市立病院）

専門作業療法士とは何者か ～作業療法の価値を高める“専門性”の意味を考える～

宇田 薫 医療法人 おもと会 訪問リハビリテーション科 統括科長

光永 済 長崎大学病院

山田 玄太 愛野記念病院 手外科センター

九州MTDLP委員会

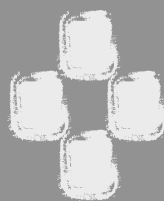
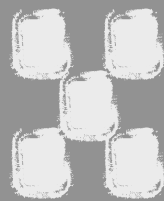
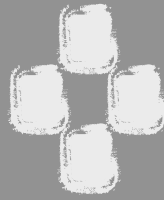
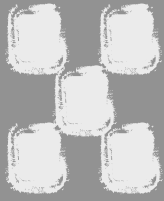
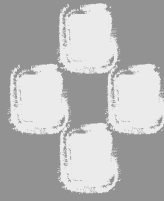
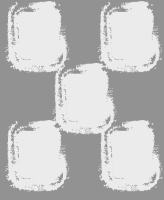
7月4日（土） 13：25～14：55 サウスグランドホテル

座長 宮城 志郎（医療法人 徳洲会 南部徳洲会病院）

5つのリーズニングによる理論とマネジメントの統合
～MTDLPを動かすエンジンとしてのリーズニング～

藤本 一博 茅ヶ崎中央病院

講演



座長 下里 綱（一般社団法人 沖縄県作業療法士会会長、医療法人 おもと会 大浜第一病院）



大嶋 伸雄

一般社団法人 社会作業療法士協会 代表理事

【所 属】

和泉大学大学院リハビリテーション研究科客員教授
東京都立大学名誉教授
日本認知療法・認知行動療法学会・理事
日本リハビリテーション・カウンセリング研究会 代表理事
日本認知作業療法研究会・理事
非常勤講師：東京都立大学 大学院・聖隷クリストファー大学 大学院・他3大学

【学 歴】

法政大学 経済学部 卒業
専門学校社会医学技術学院 作業療法学科 卒業
1999年3月 筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻
リハビリテーション・コース修了（リハビリテーション修士号）
2004年3月 昭和大学医学部公衆衛生学教室 学術博士（医学）

【職 歴】

1983年～87年 吉祥寺病院（東京） 精神科OT助手
1987年4月 外旭川病院（秋田） リハビリテーション科
1989年4月 秋田県南部老人福祉総合エリア 診療リハビリテーションセンター 作業療法士
1992年1月 秋田県立脳血管研究センター リハビリテーション科 作業療法士
1994年6月 秋田大学医学部附属病院 整形外科リハビリテーションセンター 文部技官
1999年4月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部作業療法学科 講師（2003年・助教授）
2005年9月 英国 St. George's University of London Visiting Scholar（9月～3月）
2006年4月 公立大学法人 首都大学東京大学院人間健康科学研究科
健康福祉部・作業療法学科 准教授（2009年4月：同 教授）
2014年1月 University of California, San Francisco校：Visiting Scholar（1月～3月）
2022年10月 University of Illinois, Chicago校：Visiting professor（10月～11月）
2023年3月 東京都立大学を定年退職
2023年4月 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学科長・教授 就任
2026年3月 大阪河崎リハビリテーション大学退職
2026年4月 和泉大学（旧・大阪河崎リハビリテーション大学）客員教授
現在に至る

【著書・著作・訳書等】

1. 大嶋伸雄：社会作業療法 インセプション、クリエイツかもがわ、京都、2025（8月）。
2. 大嶋伸雄：作業療法カウンセリング、三輪書店、東京、2019（10月）。
3. 大嶋伸雄：PT・OT・STのための認知行動療法ガイドブック、中央法規出版、東京、2015。
4. 菊池安希子・大嶋伸雄監訳：PT・OTのための認知行動療法入門、医学書院、東京、2014。
5. 大嶋伸雄編著：患者力を引き出す作業療法、三輪書店、東京、2013。
6. 高橋栄明監修、大嶋伸雄監訳：The Case for Interprofessional Collaboration：Geoffrey Meads & John Ashcroft,戦略的大学連携21出版、新潟、2011。
7. 高橋栄明監修、大嶋伸雄監訳：Effective Interprofessional Education：Hugh Barr, Ivan Koppel, Scott Reeves, Marilyn Hammick, Della freeth,戦略的大学連携21出版、新潟、2011。

変わる社会、変わらぬ作業療法の価値

～国民のWell-beingのために～

九州・沖縄地区の作業療法士の皆さん、こんにちは。社会作業療法士協会の大嶋です。2026年7月4日・5日、皆さんと南国沖縄で、作業療法士が社会で活躍する輝かしい未来について、熱い議論を交わさせていただく機会を頂きました。

まず、最近の日本社会はどうでしょうか。国際紛争の影響からくるさまざまな悪影響や、円安・物価高など、次々と問題や課題が生じている不透明な時代に突入しました。国民のあいだでは「生きづらさ」や「生活の困難感」を訴える老若男女が増え、全般的な不安感も増大していると推測されます。つまり、今の日本社会には、病気や障害のほかにも「作業療法」を必要としている人々が多数存在していることに、皆さんはお気づきでしょうか。

その一方で、皆さまもご存じの通り、社会保障財源の問題から発した医療財政の危機、そして病院経営における前例のない危機という事態は、主に医療保険・介護保険の臨床分野に勤務しながら、半世紀以上にわたり国民と関わってきた臨床の作業療法士の働き方に、大きな転換をもたらす局面に入っています。ここで海外に視線を向けてください。作業療法の先進国である米国では、すでに全米作業療法士の25%が学校作業療法の分野で勤務しています。日本の作業療法士が、いかに医療・介護保険分野に一極集中・偏在しているのか、よく理解できると思います。

今後、われわれは国民の生活により近い場所で、地域社会に作業療法士が勤務する時代を迎えようとしています。しかもそれは、けっして医療からの離脱を意味するものではありません。それは、病院と社会との垣根がほぼなくなってきたということ、医療と生活圏が混在したフレーム、いわゆる「作業療法の社会化」の時代が到来するということです。

作業療法の価値には、本当に素晴らしいものがあります。しかし、作業療法士の働き方は、まだまだ発展途上の段階にあります。新たな価値の創造に向けて、意識や技術を変えなければなりません。2026年7月4日・5日の沖縄で、皆さんと「まくとうそーけーなんくるないさ」を合言葉に、作業療法の未来を共有できる時を、心から楽しみにしています。



呉屋 英樹

いきがい在宅クリニック

【職 歴】

- 2002年 4月 琉球大学医学部附属病院 小児科
- 2002年 10月 那覇市立病院 小児科
- 2003年 4月 中頭病院 小児科
- 2004年 4月 沖縄県立宮古病院 小児科
- 2005年 4月 琉球大学医学部附属病院 小児科
- 2008年 4月 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 新生児科
- 2010年 4月 琉球大学医学部附属病院 周産母子センター

いのちを救う医療から、生活を支える医療へ ～ 小児科医から見た「作業療法の価値」～

作業療法とは、けがや病気、障害のある人が自分らしい生活を送れるように、作業に焦点をあてた支援をすることである。その中でも小児の作業療法の特徴としては、年齢に応じた遊びを通じて日常生活につなげていくこと、発達途上のため、まだ獲得していない機能の習得が必要なこと、対象として発達障害が多いこと、などが挙げられる。

また、近年の高齢化社会、出生数減少により少子化が進んでいるにも関わらず、小児作業療法の対象者は増加していると推測できる。その要因として早産児・超早産児の救命率が上昇し、より重症度の高い児が生存できるようになったこと、発達障害有病率の上昇などが考えられる。

さらに、医療的ケア児支援法の改正など、多くの小児が自宅で生活する機会が増加しており、時代とともに小児作業療法の役割がより重要になってきていると考えられる。それに伴い、小児に限った明確な数字はありませんが、作業療法士全体の数は増加傾向であり、働く場所も病院、訪問看護ステーション、児童福祉施設など多様になってきている。

その一方で、小児科診療の場面では、病院での診断、治療が主な目的となってしまう、退院後の日常生活まで配慮する時間が少ない場面も多い。特に限られた外来診療の時間の中で、自宅での生活・遊びまでカバーするのは極めて難しく、不十分な介入になってしまうことが多い。そこで、病院での診断、治療を、日常生活へつなげていくのが、作業療法の重要な役割である。

これまでも、小児科と作業療法はともに相互関係を築きながら発展してきましたが、主要な場面が『病院』と『日常生活』で異なっており、連携できていない部分があったのも事実である。

現在、自分は病院ではなく訪問診療医として自宅で医療的ケア児の診療を行っており、対象児としては、気管切開や人工呼吸器を使用した超重症児が多くなっています。ただ、残念ながら現時点では、現時点で作業療法と自宅で一緒に診療を行うことはほとんどありません。しかし、働く場面、目的とする場面が同じ『日常生活』となったことで、共有・共感できる場面が増え、一緒に行えることも増えてくるのではないかと期待しています。

今回の発表では、病院の小児科医としての視点、小児訪問診療医としての視点から、小児作業療法の必要性、重要性、また今後の展望など、皆さんと考えてみたいと思います。



座長 下里 綱（一般社団法人 沖縄県作業療法士会会長、医療法人 おもと会 大浜第一病院）



三代 達也

【略 歴】

1988年茨城県生まれ。

18歳時の事故により頸髄を損傷し、車いすユーザーとなる。

急性期・回復期リハビリテーションを経て社会復帰。23歳で初の海外一人旅を経験後、28歳で車いす単独による世界一周を達成（23カ国・42都市以上）。

現在は車いすトラベラーとして、講演活動、ユニバーサルツーリズムに関する企画・監修、福祉教育分野での発信を行っている。

【著 書】

『No Rain, No Rainbow 一度死んだ僕の、車いす世界一周』 光文社

車いすトラベラー × 作業療法

～世界はもっと、広げられる。限界を越える挑戦と「作業」の価値～

わたしは18歳の時に事故により頸髄を損傷し、急性期から回復期まで入院リハビリテーションを経験しました。退院後の人生を振り返りながら、作業療法という仕事を持つ力と可能性について、当事者の立場から共有したいと思います。

わたしは入院中、「ここまでできれば退院可能」「実家に帰ることが現実的な選択」と説明を受け、その時点で提示された目標に納得し、リハビリを終えました。しかし退院後、生活を再構築し、移動、買い物、仕事、旅といった日常の作業に直面する中で、「入院中には想像できなかった人生の選択肢があったこと」「本当は、もっと一緒に考えられた可能性があったのではないか」という気づきが生まれました。

その後、車いすでの国内外の移動や世界一周の旅を経験する中で実感したのは、作業療法士の関わりや言葉、問いかけ一つが、患者自身の“未来の想像範囲”を大きく広げ得るということです。作業療法は単に機能を回復させるための支援ではなく、その人がどのような人生を歩みたいのかを共に考え、形にしていく営みであると感じています。

今回お話しさせていただきたいことは、決して臨床現場で日々奮闘されている作業療法士の実践を否定するものではありません。むしろ、作業療法という仕事は「人生を変え得る力」を持つ、非常に尊く、影響力の大きな専門職であることを、当事者として心から伝えたいと思っています。患者一人ひとりが持つ生活や価値観、人生全体を見据えたとき、今何ができるのか、何を一緒に考えられるのか。今回の講演が、臨床の現場で改めてその問いに立ち返るきっかけとなることを願っています。



山本 伸一

一般社団法人 日本作業療法士協会 会長
社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院 名誉副院長

【略 歴】

昭和62年 3月 愛媛十全医療学院 作業療法学科 卒業
昭和62年 4月 医療法人財団 加納岩 山梨温泉病院（現山梨リハビリテーション病院）入職
令和5年 6月 一般社団法人 日本作業療法士協会 会長 就任
令和5年 7月 社会医療法人 加納岩 山梨リハビリテーション病院 名誉副院長

【受賞歴】

平成28年（2016） 厚生労働大臣表彰

【一般社団法人 日本作業療法士協会活動】

平成13年8月（2001）～平成21年7月 理事
平成21年8月（2009）～平成29年5月 常務理事
平成29年6月（2017）～副会長
令和5年6月（2023）会長～

【社会活動＜2025年1月1日現在＞】

一般社団法人 日本作業療法士協会 会長
学校法人 健康科学大学 評議員

【著書】

- 1) 山本伸一・伊藤克浩・高橋栄子・小菅久美子編集：活動分析アプローチ 青海社 2005
- 2) 山本伸一編集：中枢神経系疾患に対する作業療法
～具体的介入論からADL・福祉用具・住環境への展開～ 三輪書店 2009
- 3) 山本伸一・伊藤克浩・高橋栄子・小菅久美子編集：活動分析アプローチ第2版 青海社 2011
- 4) 山本伸一編集：疾患別 作業療法における上肢機能アプローチ 三輪書店 2012
- 5) 山本伸一監修：重度疾患への活動分析アプローチ 青海社 2013
- 6) 山本伸一編集：臨床OT-ROM治療
～運動解剖学の基本的理解から介入ポイント・実技・症例への展開 三輪書店 2015
- 7) 山本伸一監修：CVA×臨床OT
～「今」リハ効果を引き出す具体的実践ポイント～ CBR 2020
- 8) 山本伸一編著：PT・OTのための脳卒中に対する臨床上肢機能アプローチ
～弛緩から痙性・失調・肩の痛み、高次脳機能障害等に対するMovement-Therapy～ 三輪書店 2023 等

作業療法の「価値」 ～未来への挑戦、今こそ真価が問われている～

九州作業療法学会2026 in 沖縄の開催にあたり、日本作業療法士協会を代表してご挨拶申し上げます。本学会が歴史と伝統を重ねてこられた九州の地において、本年は沖縄で開催されますことに、心より敬意を表します。

作業療法の価値とは。それは診療報酬や介護報酬という制度の枠組みの中で評価される技術やサービスの対価に留まるものではありません。作業療法の本質は、「人がその人らしく生きるための作業を支える」ことにあります。食べる、働く、学ぶ、遊ぶ、子どもを育てる、地域で役割を果たす—そうした日々を再び可能にし、あるいは新たな形で創り出していく力こそが私たちの専門性の核心、そう思います。

超高齢社会の進展、人口減少、孤立の深刻化、子どもの発達課題、メンタルヘルスの問題等、日本社会は複雑で多様な課題に直面しています。作業療法士は、身体機能や精神機能の回復だけでなく、生活行為や社会参加に焦点をあてる専門職です。この視点は、医療・介護・障害福祉という絶対的に守るべき社会保障制度の枠を超え、地域共生社会の実現に不可欠なものです。私たちの価値は、「治す」に加えて、「つなぐ」「支える」「可能性を引き出す」ことにあります。例えば、予防や健康増進、就労支援、産業保健、学校教育、司法や矯正領域、さらには地域づくりやまちづくりへの参画等です。昨今、作業療法士の知見が活かされる場は確実に広がっています。そこでは「報酬算定の対象かどうか」ではなく、「その人や社会にとって必要かどうか」が問われます。

わたしたちに求められているのは、専門性のさらなる深化と、他職種・他分野との協働です。作業療法実践を積み重ねると同時に、様々な場所で新たな役割を創造します。報酬制度を超えた広い視野を持ち、人と社会を支え、職域を切り拓いていくべき専門職。それこそが揺るぎない価値だと思います。一方で、目の前の対象者との『「心と身体」との会話』を忘れないことです。これが本来の最重要の課題であり、大基本です。漠然とした思想・哲学ではなく、具体的な実践があってこそその「対象者の未来」です。

今回、作業療法に纏わる状況の整理と報酬制度関連等を振り返り、日本作業療法士協会の動向もご紹介いたします。そして、私自身の臨床動画とともに、「変わるべきこと、変わらないこと」を皆様と共有したいと思います。「私たちの未来」は、私たちの手で創らなければなりません。臨床作業療法の最良の質と量の提供のために、全国の組織が手を取り合い、一体となって歩んでまいりましょう。

結びに、九州作業療法学会2026in沖縄の盛会とご参会の皆さまのご健勝、そして九州の作業療法士会のさらなる発展を祈念いたします。これからも宜しく願い申し上げます。

教育講演 1

7月4日（土） 12：40～13：40 大劇場

座長 上江洲 聖（株式会社いきがいクリエーション）



寺岡 睦

吉備国際大学 人間科学部人間科学科
作業療法学専攻・准教授

【経 歴】

2016年 吉備国際大学大学院保健科学研究科博士（後期）課程修了
専門は身体障害作業療法、作業機能障害、OBP2.0、信念対立解明アプローチ

【資格など】

博士（保健学）、作業療法士、認定作業療法士



作業療法の価値を、どう説明するか ～作業機能障害とOBP2.0から考える実践の言語化～

価値は何で決まるか？

作業療法の哲学であるプラグマティズムによると、価値は実際の結果によって規定される側面があるという。例えば、水筒の価値は飲料水を持ち運び、必要なときに飲めるかで判断できる。反対に、この結果をもたらさない底に穴の空いた水筒には価値がない。

では、作業療法にはどのような価値があるだろうか？

歴史を振り返ると、この領域は作業を通して健康を回復するという結果に責任を持つことで始まったことがわかる。例えば、初期の作業療法士は、木工や織物などの手工芸を通して心身を使い、満足感や達成感を得られるよう支援した。当時、水や食料と同じく、生命にとって作業が欠かせないと位置づけられたのは、有名な逸話だ。ここから作業療法の価値は、作業を通じた健康回復という結果にあったことがわかる。

ところが、1940年後半から1950年代にかけて、作業療法は危機を体験する。その本体は、作業を通じた健康回復という結果のコミットへの喪失であった。すなわち、還元主義的な発想のもと、心身の機能訓練による健康回復という結果の体現が志向された。結果として、疾患や機能障害に対する機能訓練が発達し、実践の医学化が進んだ。これは作業療法に医学の恩恵をもたらす側面があったが、元々の作業を通じた健康回復という結果への努力を失わせた。上述したように、価値は結果で規定される側面がある以上、作業を通じた健康回復の喪失はこの領域の価値を見失わせるに十分なものであった。

そうした事態に危機感を覚えたMary Reillyは、1960年代から1970年代にかけて作業療法の原点回帰を促し、作業行動を提唱した。これは、人間の作業の価値を再発見し、健康回復における作業の役割を強調するものであった。作業行動は作業療法でもたらせる結果を再定位し、作業療法本来の価値の回復に貢献した。作業行動を母体にして、人間作業モデルや作業参加のカナダモデル、作業科学などの理論や学問が発展した。作業行動は、作業で説明できる可能性の扉をふたたび開いた。

私たちが提唱するOBP2.0はReillyの作業行動の潮流に位置づけられ、作業機能障害とその種類の解決という結果で作業療法の価値を説明する可能性に挑戦している。加えてOBP2.0は、多職種連携で生じる信念対立の解明という結果に係ることで、作業療法に新たな価値を加えようとする試みである。この講演では上記の議論を踏まえつつ、作業療法の価値がいかに説明しうるのかを考える機会としたい。



宮崎 宏興

特定非営利法人 いねいぶる 理事長

【経 歴】

1997 年より作業療法士。病院での勤務を経て 2004 年 NPO 法人いねいぶるを設立。
障害福祉分野(就労・地域活動・居住・相談)に従事。
2007 年より 11 年間、兵庫労働局龍野公共職業安定所精神障害者雇用トータルサポーターとして勤務。
2012 年に市民団体 T-SIP たつのソーシャルインクルージョンプロジェクトを設立。
現在、大阪大学大学院医学系研究科招聘教員、たつの市重層的支援体制整備事業地域共生社会推進ディレクター等を務める。

<法人概要>

障がいのある方の就職・就労・相談・居住・地域移行に関する障害福祉サービスを事業としている。
その他「たつのソーシャルインクルージョンプロジェクト(T-SIP)を組織し、ピアサポート、自殺対策の推進、フードバンク、こども食堂、地域防災、SDGs 環境保全、シルバー世代のデジタル化推進、インターネットラジオ配信、ユニバーサルな買い物・遊び・観光など、混じり合いを醸成する場づくりに取り組んでいる。

現在、

- ・特定非営利活動法人いねいぶる理事長/T-SIP たつのソーシャルインクルージョンプロジェクト代表
- ・たつの市、宍粟市、太子町、佐用町、上郡町 自殺対策ゲートキーパー研修 講師
- ・たつの市こども食堂支援事業運営指導コーディネーター
- ・たつの市デジタルディバイド解消事業 ご近所デジタルマイスター企画養成担当

その他、

- ・兵庫県西播磨圏域自立支援協議会 会長
- ・たつの市地域自立支援協議会 副会長
- ・たつの市市域協議体委員、こども・子育て会議委員、いのちつながる支援会議委員
- ・兵庫県立太子高校、伊和高校、播磨特別支援学校 外部講師
- ・たつの市、福崎町、市川町、神河町教育委員会 いのちの授業/思春期支援教室 講師
- ・たつの市教育委員会 学校作業療法士派遣事業 等
- ・書籍および学術誌の執筆等

【主な実績（過去5年間）】

- ・兵庫県ひょうごユニバーサル社会づくり動画コンテスト 2019 最優秀賞を受賞。
- ・兵庫県ユニバーサル社会づくり賞 2020 会長賞(団体)、2021 知事賞(個人、企業)を受賞。
- ・兵庫県ひょうご文化発信リーディングプログラム 2021 採択、beyond2020 認証プロジェクトを受賞。
- ・兵庫県社会福祉大会 2021 精神障害者福祉事業功労者賞を受賞。
- ・旺文社 第 2 回未来の学習参考書コンテスト 2021 敢闘賞。
- ・日本芸術工学会 減災デザイン&プランニングコンペ 2021 最優秀賞を受賞。
- ・フェーズフリー協会 第 1 回フェーズフリーアワード 2021 金賞を受賞。
- ・第1回シニア世代のデジタルディバイド全国どき tuber コンテスト 2022 健康応援賞を受賞。
- ・日本芸術工学会 減災デザイン&プランニングコンペ 2022 審査員賞を受賞。
- ・第 2 回兵庫県ひょうご SDGs スクールアワード 2023 最優秀賞を受賞。
- ・西播磨フードセレクション 2023 金賞を受賞。
- ・日本福祉のまちづくり学会 2024 市民活動賞を受賞。
- ・総務省地域情報化アドバイザー2024 全国優良事例5選に選出。



生きづらさに寄り添う作業療法 ～交わりと相互理解から生まれる共生～

孤立している訳じゃないけど孤独。

身近な人たちから、自分の想いとズレたところで、「結局どうしてほしいってこと？」「もっと〇〇にやってみたら？」「分かるわー、あなたのペースでいいんじゃないの？」などと言われたら、もうそれ以上、何も言えない雰囲気になってしまいます。

社会は常に、ひとを救い癒すこともあれば、民意の刃で少しずつ切り刺すような残酷さも併せ持っています。そして、閉ざされた生き方を一旦受け入れると、自分と合う人や社会に出会える割合が著しく減らされ、さらに人や社会から孤立し、再び深い孤立孤独や困窮に陥り、社会の脅威に晒されるのです。

孤立、孤独、困窮。社会が抱える深刻な課題は、その原因の多くが、保健と衛生の問題であるにも関わらず、問題が起こってから（傷つけられてから）でないと課題と認識されにくいいため、結局は、後手のカウンター的対処の、その何倍ものスピードで、社会の脅威に飲み込まれてしまうのです。

そして何より、社会の脅威に飲み込まれ孤立孤独に陥りはじめた時ほど「悩みが深くて他人に話せない（＝伝えきれず、どうせ分かってももらえない）」「困りごとが複数になるほど頼れない（＝甘えているようで、自らに負けてはいけない）」「頼ってアドバイスされるのが辛い（＝どうすべきかを分かっている、出来ない自分が晒される恐れ）」といった感情が沸き起こり、次第に、自らが社会と距離を置きながら、離れようとしはじめることも少なくないでしょう。

多様なつながり（縁）は、必要に応じた濃淡と情緒が機能していることが前提になります。そして、関係性の持ち方についても、みんなが「個」で「同質」の関係だと、何気に些細な差が気になるけれど、世代や多様な価値観を持つ人同士が幾重にも混じり合うと、大抵のことはそれほど気にならなくなる場合もあるかもしれません。

傷つけないこと、傷つけられないこと、決めつけないことなど、精神衛生リテラシーが人同士の所作として根付くコミュニティとはどのような風景なのでしょう？また、そのコミュニティは、どのように設計され、生活動線の重なりを生み出していくのでしょうか？当日は、仲地宗幸様をはじめ、参加者の皆様と共に、考えてみたいと思います。

教育講演 2

7月4日（土） 15：10～16：40 サウスグランドホテル



仲地 宗幸

合同会社キングコング 代表

【略 歴】

2003年川崎医療福祉大学卒業。精神科病院勤務を経て、2012年より焼肉キングコングを運営する法人の専務取締役、2020年より合同会社キングコング代表。現在は福祉事業所の運営、大学での学生相談、学生食堂の運営に携わる。毎朝の交通安全見守りを通して地域の定点観察することが日課。



生きづらさに寄り添う作業療法 ～交わりと相互理解から生まれる共生～

「共生」、共に生きる、とはどういうことか。社会がどのようなになれば実現したと言えるのか。

近年、「共生社会」という言葉は広く用いられているが、はたして国民は本当にこの方向に向かうことを望んでいるのか、疑問に感じるようなニュースも多い。

本セッションでは、地域において共生社会を実現すべく、創造に富んだ実践を展開しているNPO法人いねいぶるの宮崎宏興氏を招き、その取り組みを共有いただく。宮崎氏は、フォーマルな資源（行政サービスや介護・福祉事業）とインフォーマルな資源（個人の取り組み、地域住民ボランティア）を有機的に結びつける。結果として立ち現れるのは、支援する・されるという一方向の関係を超え、互いに関わり合いながら生きる地域社会だ。その取り組みは、「地域」というキャンバスに大胆に線を描く、多様な関係性のデザインとも言えよう。

また本セッションでは、従来の一方向的な講義形式にとどまらず、参加者が主体的に関与できる仕組みを導入する。具体的には、SNSで「いいね」を押すようなカジュアルな感覚で、リアルタイムに関心や共感を示すことができるシステム（それが何かは当日のお楽しみ）を活用し、会場全体の関心の流れを可視化する。さらに、参加者が「話したい」と感じたタイミングで発言できる対話的なスタイルを取り入れ、講演者と参加者で共に場をつくりたいと考えている。

本セッションのナビゲートは、学生支援や地域実践に携わる合同会社キングコング代表仲地が務める。宮崎氏の実践と参加者の声を交差させながら、「生きづらさ」に寄り添う作業療法の可能性を多角的に検討する。

共生社会の実現とは、制度や支援の充実のみで達成されるものではなく、人と人との関係性の中で育まれる「交わり」や「相互理解」の積み重ねこそが、その本質であると考えている。セッションにおいてもその本質の一端を体験を通して共有し、作業療法士がその媒介となり得ることを確認したい。参加者一人ひとりが、自身の実践の中で何を紡ぎ得るのかを考える契機となることを期待する。

教育講演 3

7月5日（日） 10:15～11:15 大劇場

座長 長濱 裕樹（医療法人 下地診療所 機能特化型デイサービス アルケーる・クラセーる那覇）



高橋 香代子

北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻・教授
北里大学大学院医療系研究科・教授

【学歴】

2002年 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 卒業
2004年 北里大学大学院医療系研究科修士課程 修了（医科学）
2008年 ボストン大学大学院博士課程 修了（Doctor of Science）

【資格】

2002年 作業療法士免許 取得

【職歴】

2002年～2004年 横浜市総合リハビリテーションセンター（非常勤）
2004年～2007年 米国ボストン大学 助教
2007年～2008年 米国タフツ大学 助教
2008年～2012年 北里大学東病院リハビリテーション部
2012年～ 北里大学医療衛生学部作業療法学専攻

【専門分野】

小児領域（肢体不自由，神経発達症，医療的ケア児，子育て支援など）
地域療育センター，肢体不自由・重度知的障害児者の入所施設，小児科クリニック，放課後等デイサービス（福祉型・医療型），病院（小児病棟，NICU）など

【研究テーマ】

- ・ 作業療法における効果尺度の開発（MAL, WMFT, FMA, ARAT, OPAなど）
- ・ 患者教育（PD, CVA: CI療法）の効果検討
- ・ 重度心身障害者のコミュニケーション支援における実態調査と機器開発
- ・ Williams症候群の子どもの発達と支援について

【主な所属学会・役職】

- ・ 日本作業療法士協会（常務理事）
- ・ 世界作業療法士連盟・WFOT（第一代理）
- ・ アジア太平洋作業療法グループ・APOTRG（副会長）
- ・ 世界保健機関・WHO（パーキンソン病ガイドライン作成委員会・委員）

（福祉用具外部諮問委員会・委員）

- ・ 日本臨床作業療学会（監事）
- ・ NPO法人リハビリテーション医療推進機構（理事）
- ・ 神経難病リハビリテーション研究会（監事）

【主な書籍】

- ・ リハビリテーション評価データブック，医学書院（分担執筆）
- ・ 脳卒中機能評価・予後予測マニュアル，医学書院（分担執筆）
- ・ 作業で語る事例報告 第2版，医学書院（分担執筆）
- ・ 小児リハ 評価ガイド，メヂカル・ビュー（分担執筆）
- ・ 学校作業療法ガイドブック，青海社（分担執筆）
- ・ 「届けたい教育」をみんなに，クリエイツかもがわ（分担執筆）
- ・ リハビリテーションテキスト小児科学，メヂカルビュー社（分担執筆）



10年後を見据えた身体障害領域の作業療法のあり方

身体障害領域は、多くの作業療法士（OT）が関わる大切な分野です。しかし、医療提供体制の変化や在院日数の短縮、多職種連携の進展により、10年後も今と同じ役割や働き方が続いているとは限りません。本講演では、こうした変化を見据えながら、「作業療法士だからこそできること」を改めて考え、身体障害領域におけるOTの専門性やこれからのあり方について、皆さんと一緒に見つめ直していきたいと考えています。

「作業療法士らしさ」とは何か。そのヒントは、日本作業療法士協会の基本理念である「作業で暮らしに彩りを」に込められていると思います。身体障害領域においては、急性期の段階からクライアントを「作業的存在」として捉え、その人の生活を形づくる作業に目を向けることが大切です。単に機能の回復を目指すだけでなく、クライアント自身が自分の体とうまく付き合いながら、自分らしい生活を再び築いていく力を引き出し、支えていくことが、作業療法の大きな役割だと考えています。

また、がんや難病など、病気とともに生きる方々への支援においても、意味や価値のある作業をどのように続けていくかが重要になります。作業のやり方（作業フォーム）を工夫することで、たとえ機能の変化があっても生活の質（QOL）を保ち、さらに高めていくことが可能です。一人ひとりの生活に寄り添った「オートクチュール」のような支援は、まさにOTならではの関わりといえるでしょう。

さらに、こうした専門性や魅力をどのように社会や他職種に伝えていくかも重要な課題です。本講演では、臨床の実践と無理なく両立できる研究への関わり方にも触れながら、作業療法の価値を発信していくためのヒントについても考えていきます。

身体障害領域において、OTがこれからも必要とされ続けるためには、専門性を見つめ直し、それを発信していくことが大切です。本講演が、これからの実践を考える一つのきっかけとなれば幸いです。

教育講演 4

7月5日（日） 11：30～12：30 大劇場

座長 比嘉 彩乃（株式会社いきがいクリエーション）



岩永 竜一郎

長崎大学生命医科学域教授

長崎大学子どもの心の医療・教育センターセンター長

【資 格】

認定作業療法士

感覚統合認定講師

特別支援教育士スーパーバイザー

自閉症スペクトラム支援士エキスパート

医学博士

【著 書】

- ・発達症のある子どもの支援入門 行動や対人関係が気になる幼児の保育・教育・療育. 同成社. 2022、
- ・マンガでわかる 発達が気になる子の検査・診断・支援. 中央法規. 2023、
- ・増補版 特別支援教育に使える【感覚+動作アセスメント】マニュアル. 合同出版. 2024、
- ・不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック: DCD(発達性協調運動症)入門. 金子書房. 2024



先生とこどもの “作業” を支える学校作業療法 ～学校という現場で、専門性はどう生きるか～

学校への訪問支援におけるOTの役割

学校における作業療法士（OT）の関わりの一つとして、学校訪問による支援がある。演者はこれまで、教育委員会からの依頼による巡回相談、外部専門家活用事業、町の保健センターによる学校訪問支援、長崎大学子どもの心の医療・教育センターによる訪問支援など、複数の形態で学校への訪問支援を行ってきた。

これらの取り組みを通して、学校においてOTが果たし得る役割の大きな可能性に気づくと同時に、支援に対する考え方を見直す必要性も実感してきた。

演者の訪問支援の多くは単発である。その中で実施してきたのは、子どもの実態把握、子ども・保護者・教師のニーズに応じた支援について共に検討すること、さらに子どもの長期的支援につながる連携の構築である。OTが医療・福祉機関で行うような直接的介入とは異なり、教師（チーム学校）と子ども・保護者がより良い関係を築き、教師（チーム学校）が中心となって支援を展開できるよう支援することの重要性を実感してきた。

訪問支援においては、子どもの包括的なアセスメントと、ニーズに応じた臨機応変な支援策の検討が求められる。また、様々な視点をもつジェネラリストとしての役割が期待されており、子どもや教師、保護者それぞれの個性とニーズに応じた柔軟な姿勢が必要であると考ええる。

本発表では、学校におけるOTの訪問支援において重要と考えられる点について述べる。

教育講演 4

7月5日（日） 11：30～12：30 大劇場

座長 比嘉 彩乃（株式会社いきがいクリエーション）



仲間 知穂

作業療法士
YUIMAWARU株式会社代表

【略 歴】

東京都立保健科学大学卒業後、回復期リハビリテーション病棟勤務と作業療法士養成校教員を経て、2009年より学校作業療法を開始。2016年に「こども相談支援センターゆいまわる」（沖縄県うるま市）、2020年に「こどもセンターゆいまわる」（南風原町）、2024年に関西拠点（西宮市）を設立。学級経営支援、親子通園、巡回相談など、地域と学校・行政が連携する支援モデルを展開。2025年度、こども家庭庁「アウトリーチ支援に関する調査研究」検討委員（委託：三菱UFJリサーチ&コンサルティング）および国立特別支援教育総合研究所（NISE）専門研修講師を務める。全国で年間30回を超える講演・研修も行っている。

【著 書】

『学校に作業療法を』『学校作業療法ガイドブック』『届けたい教育をみんなに』等



先生とこどもの “作業” を支える学校作業療法 ～学校という現場で、専門性はどう生きるか～

近年、インクルーシブ教育の推進や子どもの多様な学びへの支援が求められる中で、学校現場における作業療法士（OT）の役割への期待が高まっている。一方で、学校作業療法には未だ固定化された「正解」があるわけではなく、それぞれの地域や実践者が、学校文化や教育現場の文脈の中で試行錯誤を重ねながら形づくってきた歴史がある。

本シンポジウムでは、異なる立場から学校作業療法に関わってきた二人の実践を通して、「学校という現場でOTは何を支える専門職なのか」を問い直したい。

岩永先生は、学校現場における長年の実践と研究を基盤に、作業遂行分析やエビデンス構築を通して学校作業療法を切り拓いてこられた。一方、仲間は、地域に根ざした実践の中で、教師への伴走支援や対話、ナラティブを重視しながら、「届けたい教育」を軸に学校・家庭・地域をつなぐ実践を行ってきた。

一見すると、エビデンスとナラティブ、分析と対話という異なるアプローチに見えるかもしれない。しかし実際には、両者には「子どもだけでなく、先生の願いや教育の文脈を支える」という共通した視点が存在している。

本シンポジウムでは、それぞれの実践や思考の違いを単に比較するのではなく、多様な学校作業療法のあり方として重ね合わせながら、その共通性や方向性を共有していく。さらに、学校という複雑な現場の中で、OTが専門性をどのように活かし、教師や子どもと協働していくのかについて、参加者とともに考える場としたい。

学校作業療法に「唯一の形」はない。しかし、現場で耕され続けてきた実践の中には、これからの学校と社会を支えるための重要な視点が確かに存在している。本企画が、それぞれの地域や現場で実践を続けるOTにとって、新たな問いとつながりを生む機会となれば幸いである。

教育講演 5

7月4日（土） 12：10～13：10

サウスグランドホテル

座長 宗像 暁美（学校法人 智帆学園 琉球リハビリテーション学院）



林 稚憲

法務省 府中刑務所

【略 歴】

2010年 医療法人社団博奉会 相模ヶ丘病院 入職

2020年 法務省 府中刑務所 入職



司法領域における作業療法の役割と今後の展望

2025年6月1日に矯正施設において明治時代以降の大きな変革があった。懲役刑と禁錮刑が廃止され、新たに拘禁刑が創設される刑法の改正が行われた。この改正により、集団編成の見直し、矯正処遇過程の新設、矯正処遇・社会復帰支援等の充実、受刑者の再犯防止に向け、個々の受刑者の特性に応じた処遇が展開されることになった。

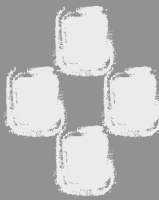
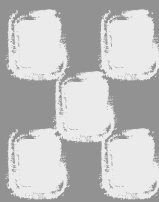
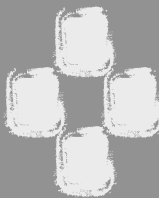
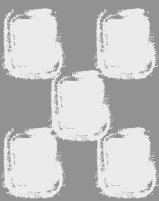
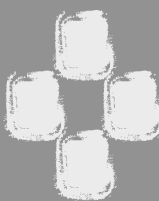
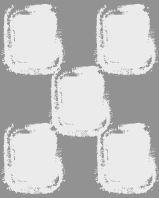
私は2020年から矯正の世界に入り、現場で拘禁刑創設に向けた変革期を経験した。この変革は、刑務官の他、他職種が協働し、試行錯誤をしながら新たな取組を企画・運営し、作り上げてきた時期といえる。

近年、収容者の高齢化や障害を有する者の割合が増加している。「令和6年度犯罪白書」によると、2023年度（令和5年度）の全国における新受刑者のうち、65歳以上の者の割合は約14%となっており、その割合は増加傾向にある。また、精神障害および知的・発達障害を有する新受刑者は約20%となり、新受刑者の約5人に1人が障害を有していると言える。そのような背景の中、本来業務を行っていた作業専門官の他、教育専門官や心理専門官、福祉専門官など専門的知識を有する職員が配置されるようになり、作業療法士もその一員として対象者支援を行っている。

本講演では、皆さまにとって馴染みのない矯正施設についてご紹介し、私が経験してきた約6年間の振り返りの中で、矯正施設内で実践されている取組について述べたい。本講演が、矯正施設や矯正で働く作業療法士の取組への理解の一助になれば幸いである。

文献

- 1) 法務省：令和6年版犯罪白書－女性犯罪者の実態と処遇



シンポジウム

座長 吉岡 美和（医療法人 おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院）

河合 晶子

藤田医科大学 七栗記念病院
地域包括支援センター



【職 歴】

2002年 国際医療福祉大学で作業療法士資格取得後、介護保険下の訪問看護ステーション、2007年から精神科・認知症治療病棟でのリハビリテーション業務を経て、2018年 行政に異動。三重県庁にて「在宅医療、介護予防、認知症事業」、精神保健福祉センターにて「アディクション、引きこもり事業」を担当する。2023年より現職。

【所属組織】

日本老年精神医学会作業療法委員会委員、日本作業療法士協会地域社会振興部認知症班班長、三重県作業療法士会地域リハビリテーション部認知症とともに班委員、三重県オレンジチューター、鳥羽市地域ケア会議アドバイザー等。

【著書（分担執筆）】

「Evidence basedで考える認知症リハビリテーション」「Evidence basedで考える認知症リハビリテーション2 BPSDの評価と介入戦略」「臨床作業療法NOVA 認知症者と家族支援のための作業療法技術」「臨床作業療法NOVA ようこそ地域作業療法へ」 等

【資格など】

作業療法士、認知症ケア専門士

問い続ける認知症支援 ～作業療法士が向き合う現場と未来～

地域共生は誰が担うのかー支援者としての作業療法の問い

2024年（令和6年）1月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行された。この法律は、首相を本部長とする多部局横断の推進本部が設置され、当事者らの意見を直接反映した日本初の法律である。本法の主語は「認知症の人を含めた国民一人一人」であり、実現すべき「共生社会」とは、その誰もが「個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合う」社会と定義されている。認知症があっても、自らの意思や希望に基づき、持てる能力を発揮して自分らしく生活できる「新しい認知症観」の普及を目指し、今、様々な主体や仕組みが動き出している。

この大きな潮流の中で、私たち専門職にはどのような役割が期待されているだろうか。共生社会が目指す「個性と能力の発揮」という理念は、まさに作業療法が目指すものと一致する。作業療法士は、その人らしさを中心に据え（個性）、能力や環境をアセスメントし（能力）、生活の自立や社会参加を支援する専門職である。その視点は、ご本人や家族への直接的な支援に留まらない。地域で創出されている多様な資源や行政の仕組みへの間接的な支援においても寄与でき、共生社会の実現を推進する一員として、作業療法士は大きな役割を担えると確信している。

一方で、私たちが所属する医療・介護の現場には、制度上の制約やマンパワー不足、リスク管理、多職種連携の難しさ、組織の壁など、理想を阻む多くの障壁がある。「その人らしさ」を支えたいと願いながら、現場とのギャップに葛藤している仲間は少なくない。このギャップを埋める鍵こそが、本シンポジウムのテーマである「問い続けること」であると考え、障壁の中で立ち止まるのではなく、「どうしたら今の現場で、本人が豊かに生きるための支援ができるか」と問い続ける姿勢が、本人の想いに耳を傾け、地域の資源や施策の動きに目を向け、必要な支援の手立てを考え、現場を変革する原動力となる。

本シンポジウムでは、OTの専門性が認知症を持つ人を含む共生社会の実現にどう寄与できるか、そして現場の壁をどう突破していくかの知恵について議論し、未来を創るための「問い」を、他のシンポジストの先生方、会場の皆様と共に考えたい。

座長 吉岡 美和（医療法人 おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院）

安次富 麻紀

医療法人アガペ会
新オレンジサポート室 看護師



【職 歴】

名古屋で看護学校を卒業し、急性期病棟勤務（名古屋・沖縄・千葉）、沖縄県内の地域包括支援センター（基幹型2ヶ所・委託型2ヶ所勤務）、介護予防事業8年（スクエアステップ・シナプスソロジー、健康運動実践指導者、介護予防運動指導員、認知症予防ファシリテーター、kaigoカフェファシリテーター、J A A日本アロマコーディネーター等取得）、認知症地域支援推進員3年。

認知症キャラバンメイトとしても活動。県内数カ所の SOSネットワークの立上げ等

H30年より現在の沖縄県若年性認知症支援コーディネーター増員枠で業務へ

うるま市の認知症キャラバンメイトとして・・・「沖縄県警察学校」、「JUSCO」、銀行、生命保険会社、自治会、小中高校等で「認知症サポーター養成講座」担当。

H27年「認知症高齢者等の“搜索模擬訓練”」 H28年2月「支え合いのまちづくりフォーラム」11月「RUN伴OKINAWA（3年間サポート）」に関わっていました。

問い続ける認知症支援 ～作業療法士が向き合う現場と未来～

看護師・若年性認知症支援コーディネーターの立場から見た 作業療法士の役割と価値

若年性認知症支援では、診断後から適切な社会資源へつながるまでの「空白の期間」が課題とされている。この期間に本人および家族は、就労継続、家庭内役割の変化、経済的不安、社会的孤立など生活全体の再構築を求められるが、医療中心の支援のみでは十分に対応できない現状がある。

本報告では、看護師および若年性認知症支援コーディネーターの立場から、地域支援における作業療法士の役割と価値について整理した。

作業療法士は身体・認知機能評価にとどまらず、生活歴や社会的役割、環境要因を含めて「できない理由」を分析し、意味のある作業活動を通して生活の再構築を支援する専門職である。若年性認知症においては能力低下そのものより役割喪失が心理的影響を及ぼすことが多く、作業療法士による就労調整や社会参加支援は自己効力感の維持に寄与すると考えられる。

また地域支援の視点では、医療から就労、地域生活、介護へと移行する過程で支援が分断されやすいが、作業療法士は活動と参加の視点を基盤に多機関を横断し、支援を生活の連続性としてつなぐ役割を担う。これは「空白の期間」の縮小にも寄与する可能性が示唆される。

看護実践においても、作業療法士の介入は活動参加の促進や行動・心理症状の安定につながり、自立支援型ケアへの転換を促す要因となる。

若年性認知症支援において作業療法士は、診断後から地域生活期まで伴走し、認知症になっても社会的役割を持ち続けられるよう支援する重要な専門職であると考ええる。

座長 吉岡 美和（医療法人 おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院）

德里 尚美

医療法人 天仁会
天久台病院



【略 歴】

- 2008年 沖縄リハビリテーション福祉学院 作業療法学科卒業
- 2009年 医療法人天仁会天久台病院 重度認知症デイケア、認知症治療病棟担当
- 2023年 合同会社キングコングCotori
- 2024年 JICA日系海外協力隊派遣 ドミニカ共和国 ドミニカ日系人協会配属
- 2025年 医療法人天仁会天久台病院 重度認知症デイケア担当

【社会・地域活動など】

- ・院内デイケアにおける作業選択意思決定支援ソフト(ADOC)を用いた作業療法介入の一考察、認知症ケア事例ジャーナル14(3)：231-235, 2021
- ・認知症の人の生活行為向上に資するリハビリテーションの手引き 平成31年～令和2年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)アルツハイマー病患者に対する生活行為工程分析に基づいたリハビリテーション介入の標準化に関する研究 研究協力
- ・東京2020オリンピック 聖火ランナー、開会式ブラカードベアラー
- ・那覇市市民活動団体「オレンジガーデンおきなわ」、「那覇市民協議会」所属

問い続ける認知症支援 ～作業療法士が向き合う現場と未来～

医療の枠組みの中で“らしさ”を支えることはできているか？

共生社会の実現を推進するための認知症基本法の基本理念には、「認知症の人の意向を十分に尊重しつつ、良質かつ適切な保健医療サービス及び福祉サービスが切れ目なく提供される」と明記されている。作業療法の実践では、「対象者にとってなにが大切な作業であるのか」について焦点を当てることや、対象者の意思決定を支援することが重要であるが、実際の現場ではそれらをとらえることが難しい場合がしばしば存在する。

以前担当していた認知症治療病棟に入院してきたAさんは、「お風呂はいつも家で入っているわよ」と言い、入浴できない状況が続き、病棟職員は対応に苦慮していた。そこで作業選択意思決定支援ソフト(Aid for Decision-making in Occupation Choice ; ADOC)を用いた面接を試みた。面接ではしてみたい作業として「散歩」を選択し、「毎日、家のそこら辺をぐるっと歩いているわよ」と語った。また、「入浴」では「お風呂は汗をかいたら入っている」「歩いた後なんかにすっきりしてね」と語った。これらの語りを起点に、多職種と連携して入院前の入浴習慣に近い環境を整えたことでAさんは入浴することができるようになった。また、入院早期から退院先として希望する施設職員と連携を重ねることでAさんは無事に希望する施設へ退院された。

現在担当している重度認知症デイケアでは、利用者が住み慣れた地域において役割をもって社会参加を促進するプログラムとして「ボランティアクラブ」、「公園愛護会」を実施している。これらをとおして、利用者を治療対象としての“患者”の視点のみならず、“地域を構成する一員”と捉え、地域で共に支え合う仲間として共生社会の実現に向けて取り組んでいるが、医療の枠組みの中で“らしさ”を支えるのはまだまだ課題は多いと感じている。そんな中にあっても、作業療法士として共生社会実現に向けて何ができるのか皆様さと一緒に考えていきたい。

田村 浩介

株式会社いきがいクリエーション
代表取締役



【経 歴】

1978年東京都出身。母親の病死を経験し、人の役に立ちたいと作業療法士の道へ。2001年に沖縄に移住。琉球リハビリテーション学院教員などを経て、2011年株式会社いきがいクリエーションを起業。2021年特定非営利活動法人 いきがいLABO共同代表。（一社）沖縄県作業療法士会副会長、（一社）沖縄県リハビリテーション専門職協会理事を歴任。

夢はいきがいのまちづくり、医療、福祉の立場で考えている。

共生社会のトップランナーリレーセッション ～作業療法のこれからの価値を考える～法士が向き合う現場と未来～

株式会社いきがいクリエーションは、「いきがいと共に歩む」を理念に、沖縄市、うるま市に医療・介護・福祉の事業所を営んでいます。

「いきがい」には5つの意味があります。

それは、

- ①生きがい：自分らしい人生を歩むこと
- ②居きがい：穏やかに過ごせる居場所のこと
- ③行きがい：参加してよかったと感じること
- ④活きがい：笑顔で活動できる環境のこと
- ⑤逝きがい：望む人生の最期を迎えること

です。

私たちは、0歳～100歳まで、すべての人がいきがいと共に歩めるようにサポートするプロフェッショナルとして、ご利用者の意思を大切に、ご家族、地域の皆さま、そしてスタッフと共に支え合い、考え続けます。

いきがいクリエーションを起業して、15年が経ちました。その間、いろんなことがありました。いろんなことがありすぎて、一言で語ることはできません。でも、ひとつだけ言えることがあるとすれば、もしまたゼロから始めるとしても、いきがいクリエーションを始めるということです。スタッフのみなさま、地域のみなさま、そして、家族に支えられてなんとかここまで歩んで来ることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

私自身の「いきがい」と共に歩む人生をこれからも大切にしていきます。

当日は、楽しくお話しできればと思います。

ChatGPTに「田村浩介の考える作業療法の価値は？」と聞きました。

田村浩介の考える作業療法の価値は、「いきがいと共に歩む支援」にある。作業療法は機能回復だけを目的とするのではなく、その人の願いや役割に寄り添い、生活そのものを通して人生を支える専門性である。できるかどうかではなく、「どう生きたいか」を大切に、最期まで尊厳といきがいを守りながら伴走する。それが作業療法の本質だと考えている。

らしいです。

座長 坂本 将吏(認定NPO法人 侍学園 スクオーラ・今人 沖縄校)

金子 茂稔

株式会社 WONDER未来図
代表取締役



【学 歴】

平成6年3月 県立宮崎南高校卒業
平成10年3月 国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院 卒業

【資 格】

平成10年4月 作業療法士免許取得
平成16年11月 介護支援専門員資格取得

【職 歴】

平成10年4月 社会保険 宮崎江南病院入職
平成26年11月 株式会社 未来図Labo設立
令和3年2月 株式会社WONDER未来図設立

【役 職】

<職場における役職>
株式会社 未来図Labo 代表取締役
株式会社 WONDER未来図 代表取締役
<自治体における役職>
宮崎市自立支援型地域ケア会議アドバイザー
新富町自立支援型地域ケア会議アドバイザー

【賞 罰】

平成24年 日本社会保険医学会 学会賞受賞

【執 筆】

臨床作業療法：ようこそ地域作業療法へー中核の担い手になるために
「地域におけるコミュニティデザインと作業療法」

共生社会のトップランナーリレーセッション ～作業療法のこれからの価値を考える～法士が向き合う現場と未来～

演者は病院勤務17年を経て起業し、作業療法の視点を土台に、自治体の介護予防事業支援、介護予防DX、データ活用、介護保険事業計画策定の伴走支援に取り組んできた。

本講演は、次の3点を中心に構成する。第一に、データ活用の視点を通して、作業療法士の専門性を地域へ広げる活動を紹介する。データは「人を評価するもの」だけではなく、「現場の気づきを確かめ、次の一手を選ぶための道具」である。臨床で培った観察や仮説検証の姿勢を、地域の実践に持ち込み、住民の声や現場の手触りと数値を往復しながら、より良い支援につなげる発想を共有する。

第二に、地域共生の実現に向け、自治体内の複数課に横ぐしを通し、組織横断で施策を形にしていくための実践のヒントを提示する。介護・保健・福祉・子育て・防災・地域づくりなど、課が分かれるほど課題は分断されやすい。一方で、住民の生活はひとつであり、支援も本来はつながっているべきである。立場や専門性の違いを越えて目的を揃え、小さな合意形成を積み重ね、関係者が同じ方向を向ける“翻訳”と“接続”の工夫を、演者の試行錯誤を交えて語る。

第三に、若手OTや起業を目指す方に向けて、キャリア形成に関する示唆を提供する。起業は遠い世界の話ではなく、「違和感を放置しない」「失敗を学びに変える」「自分の価値をを経済的な価値に変換する」といった日々の姿勢の延長線上にある。本講演では、迷いながら進んできた過程も含め、等身大の言葉で共有し、挑戦することへの心理的ハードルを下げたい。

座長 坂本 将吏（認定NPO法人 侍学園 スクオーラ・今人 沖縄校）

佐藤 美奈

株式会社 フィールド ブルースター
重症心身障がい児通所施設
放課後デイサービス・児童発達支援事業所



【学歴】

2009年 3月：東筑紫学園 九州リハビリテーション大学校 専門学校 卒業

【職歴】

2009年 3月 作業療法士免許 取得
2009年 4月 社会福祉法人やまびこ学園 入職
2014年 8月 リンパトリートメントセラピスト 取得
2015年 8月 株式会社フィールド チェリッシュ 入職
2015年 8月 訪問型の家族ケアをボランティアにて開始
2021年 4月 株式会社フィールド ブルースターへ移動（現在）

【その他活動】

2011年 公益社団法人 福岡県作業療法協会 企画委員会所属（継続）
2024年 公益社団法人 福岡県作業療法協会 代議員（継続）

共生社会のトップランナーリレーセッション ～作業療法のこれからの価値を考える～法士が向き合う現場と未来～

作業療法の「居場所」を問い直す 「10年後、今の職場で働く自分の未来は見えますか？」

私はこれまで、医療的ケア児らの居場所を作りたいという経営者の想いに共感し、二つの事業所立ち上げに携わってきた。地域に根ざした支援を模索して10年。独身時代は専門性を追い求め自由に働いていたが、出産を機に世界は一変した。繰り返す子どもの体調不良。欠勤の後ろめたさから働く意味や自分の価値を見失いかける日々もあった。そんな私を支えたのは、保護者や仲間の「あなたの代わりはいない」という言葉だった。支えられ、今の私がある。本公演では増加する放課後とデイサービスのあり方や、そこに居るOTの役割や価値について経験を踏まえお伝えしたいと考えている。

現在は、事業所方針の策定から現場実務まで幅広く担い、経営者の視点と現場の熱量を繋ぎ、「10年後もこの場所を残すために何が必要か」を問い続けている。経営を自分事として捉え、利用者の未来と組織の未来を重ねて考えることは、中間層が担うべき“作業のデザイン”であると考えている。

障がい児者を抱えた家族に生活にプラスの楽しみを提供できないか。皆で考え企画立案を行っている。ヒントは福岡県OT協会の企画活動で「想いを発信する大切さ」にあった。外出を促す600人規模のマルシェやヘアカット、ママ会などは単なるイベントではなく、家族の困りごとを可視化し、社会資源と結びつけて変化へ導く社会実装の場である。居場所を作るだけでなく、IADLにも目を向けることで生活全体を再構成する視点を得た。OTとは、生活の中のピースを拾い集め、“環境×人×作業”を再構成するデザイン職であり、生活をプラスに転じさせる価値変換の専門職である。

さらに、リハビリだけでは解決できない家族の課題に応えるため、訪問美容事業を少しずつだが9年間継続してきた。家族との対話からは、子どもへの後ろめたさや帰宅後の動線、夜間の体位変換、兄弟児の関わりなど多くの相談を受ける。提案の結果、感謝の言葉や生活の変化を実感すると、「OTの視点」は当たり前ではなく、これは作業療法士が環境と人を近づけた価値創造の成果である。

大きな変革は起こせなくとも、自分に会った人の困りごとを共に考え、変えていける存在でありたい。本講演が、地域の可能性を信じて歩み出したいすべての方へのエールとなれば幸いである。

シンポジウム③

7月4日（土） 15：00～16：30 大劇場

座長 澤田 歩（地方独立行政法人 那覇市立病院）



宇田 薫

医療法人 おもと会
訪問リハビリテーション科 統括科長

【略 歴】

1989年 国立療養所近畿中央病院附属リハビリテーション学院 作業療法学科卒業
同年 宇治徳洲会病院勤務
1993年 京都民医連第二中央病院勤務
2000年 大原記念病院グループ 訪問看護ステーションすざく勤務
2007年 おもと会 大浜第一病院訪問リハビリテーション 勤務
おもと会 統括本部 訪問リハビリテーション科 科長兼務(2015より専従)

【資 格】

認定作業療法士 （2007.2.1認定）
専門訪問作業療法士（2016.2.1認定）
修士（地域経営学）（2019 沖縄大学大学院 現代沖縄研究科 卒業）

【主な委員・社会的活動など】

日本訪問リハビリテーション協会 副会長
日本脳損傷ケアリング・コミュニティ学会 理事
日本在宅医療連合学会 評議員
沖縄大学非常勤講師

【執筆活動】

OTジャーナル（三輪書店）vol.58 No.1 2024 『特集 職員教育-OJTについて考える』
少人数スタッフでのOJT～訪問リハビリテーションより～
（編著）今日からの訪問作業療法 手習い帖 NOVA Vol.21 No.3,青海社
（編著）明日からの訪問作業療法 玄人帖 NOVA Vol.22 No.3,青海社



専門作業療法士とは何者か ～作業療法の価値を高める“専門性”の意味を考える～

専門作業療法士は得か損か？ ～対象者中心で考える。自分から動いてみる。～

「専門にとって得になることがありますか？」と尋ねられることが度々あります。取得のための費用は「自分の」負担となり、取得のための学習時間は「自分の」時間を割かなくてはならず、専門作業療法士である「自分の」給与と取得していない同期の職員とは給与は同じ。と考えると決して「得している」とは思えないでしょう。「自分を中心で考える」とそうなってしまいますが、「対象者を中心」に考えるとどうでしょう？決して「自分のことより対象者を優先。。。自分を犠牲にして。。。」ということではありません。「対象者を中心を考える余裕をもつこと」「そのために自分の生活・気持ちを整えることができること」「その瞬間に一番大切なことを選択できる判断ができること（いつ何時も対象者が優先ではない。）」が、自己研鑽を目指す作業療法士なら携えておくといえます。

これらは子育て、親などの介護、自分の入院を経験しながら作業療法士を続けてきた中で私自身が気づいたことです。作業療法士を含め、人が生活を営んでいけば、様々な場面で「余裕を持つこと」「判断すること」は日常的に必要とされる行為だと考えます。また、自分を中心にして得を求めると、自分に何らかのプラスになるかもしれませんが、広がりをもつとは限りません。自分から「得を求めに行く」ほうが気づきや出会いがあり、広がりを得られると思います。

専門OT取得研修会で出会う講師や専門訪問作業療法士から学ぶことは多く、自分では気づけなかったり、解決できなことも明らかになっていきます。また、受講する会員からも、自分が経験したことのない実践をお聞かせいただくことで、自分の作業療法視点が広がり、どれもお金では得ることのできない

「得」と考えます。自身が得たものを職場の同僚、地域・全国の訪問リハ・地域リハ仲間に伝え・共有することで、みなさんからフィードバックが得られ、さらなる広がりをもって自身の作業療法実践を豊かなものに導いてくれます。

以上のように、専門作業療法士は「損か得か」と問われたら、「お得」よりも「感謝」という表現が当てはまると思います。お金では手に入れることができない「出会い」「経験」「気づき」「成長」を今も、続けている毎日です。私の経験から何か一つでもみなさんの背中を押すフレーズが見つかる嬉しいです。

シンポジウム③

7月4日（土） 15：00～16：30 大劇場

座長 澤田 歩（地方独立行政法人 那覇市立病院）



光永 済

長崎大学病院

【学 歴】

平成14年 長崎大学医療技術短期大学部 作業療法学科 卒業
平成26年 熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科 保健科学専攻 修了
令和2年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 地域リハビリテーション学分野 修了

【職 歴】

平成14年 熊本機能病院（平成26年11月30日退職）
平成26年 長崎大学病院（平成26年12月1日～）

【資 格】

平成14年 作業療法士免許取得
平成24年 認定作業療法士
令和4年 専門作業療法士（脳血管障害）

【科研費】

令和3～6年 「リハビリテーション効果を促通する新たな介入戦略としてのN-back課題の有効性」
令和7年～ 「ALS患者における病状進行と活動量の関連性について：新たな予後予測方法の検討」

【研究業績（主要論文）】

Factors related to post-stroke depression during the first 2 weeks after stroke
腹腔鏡下術後に左橈骨神経麻痺を呈した患者に対する作業療法

【研究業績（主要著書）】

「作業療法 臨床実習とケーススタディ」（医学書院，分担執筆）
「誤嚥性肺炎の治療・マネジメント」（医歯薬出版，分担執筆）

【専門分野】

脳血管障害の作業療法
神経難病（ALS）に対する活動量評価・在宅支援



専門作業療法士とは何者か ～作業療法の価値を高める“専門性”の意味を考える～

作業療法のVALUEを示す ～専門作業療法士が切り拓く臨床の質と社会的実践～

近年、作業療法士資格取得者数は増加しており、作業療法士を取り巻く環境は大きく変化している。一方で、作業療法士の社会的認知や職業評価は必ずしも十分とは言えず、作業療法が社会にどのような価値（VALUE）を提供しているのかを明確に示していくことが重要な課題となっている。学会テーマである「THE VALUE」は、作業療法の価値を改めて問い直し、社会へ発信していく重要性を示すものであると考える。

日本作業療法士協会では、専門性の可視化と臨床の質保証を目的として認定作業療法士および専門作業療法士制度を整備している。専門作業療法士は単に高度な知識や技術を有する専門職ではなく、臨床判断を再現可能な形で実践し、その知見を臨床や地域へ還元していく役割を担う専門職であると考えられる。

私は急性期脳血管障害領域の作業療法に従事する中で、機能回復のみならず生活の視点から患者を理解することの重要性を実感してきた。例えば、運動機能の改善が得られている症例であっても、注意障害や遂行機能障害などの影響により退院後の生活に困難を生じることがある。このような経験から、生活を見据えた臨床判断を経験に依存するのではなく、根拠をもって説明できる専門性の必要性を認識し、専門作業療法士を目指した。

現在、日本作業療法士協会学術対策小委員会脳血管障害ワーキンググループにおいて、脳血管障害に対する作業療法アセスメント項目の抽出を目的としたデルファイ調査を実施している。本研究ではエキスパートパネルによる合意形成を通してICFに基づく評価セットの構築を目指しており、作業療法評価の標準化と臨床の質保証に寄与することが期待される。この取り組みは、専門性を個人の経験にとどめるのではなく、仕組みとして臨床に還元、作業療法のVALUEを社会に示していく試みである。

本講演では、専門作業療法士を目指した背景や臨床経験を踏まえ、専門作業療法士制度の意義と専門性が臨床・教育・地域活動にどのような影響を与えるのかについて紹介する。また、デルファイ調査を通じた作業療法評価の標準化の取り組みを例に、作業療法のVALUEを社会に示していくための今後の展望について考察する。

シンポジウム③

7月4日（土） 15：00～16：30 大劇場

座長 澤田 歩（地方独立行政法人 那覇市立病院）



山田 玄太

愛野記念病院 手外科センター

【略 歴】

2003年 3月 長崎医療技術専門学校 卒業
4月 愛野記念病院 入職

【資 格】

- ・認定ハンドセラピスト
- ・専門作業療法士 手外科（2016年2月取得）
- ・認定作業療法士（2010年4月取得）

【学会・研究会活動】

- ・日本ハンドセラピー学会 理事
- ・日本ハンドセラピー学会認定ハンドセラピスト養成カリキュラム・セミナー講師
- ・九州ハンドセラピー研究会 世話人
- ・第30回長崎県作業療法学会 会長
- ・第38回日本ハンドセラピー学会学術集会 会長



専門作業療法士とは何者か ～作業療法の価値を高める“専門性”の意味を考える～

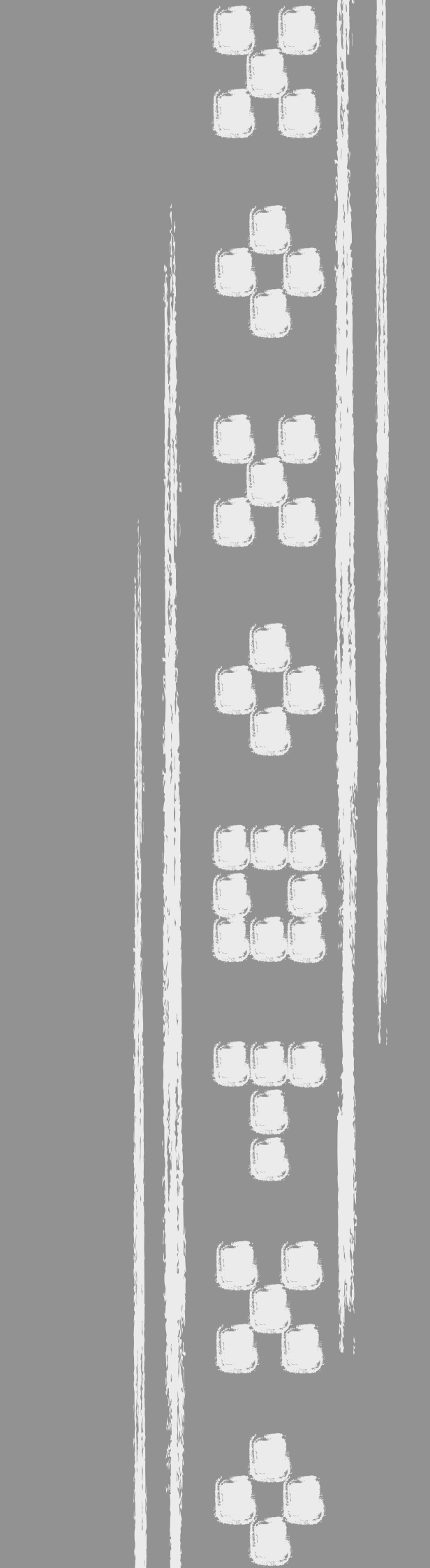
「動く手」ではなく「使える手」を目指して ～手外科領域における作業療法士の価値～

手外科領域におけるハンドセラピーは、関節可動域や筋力などの運動機能の回復を中心とすることから、理学療法士の領域と捉えられることも少なくない。しかし、日常生活や社会生活の中で手を実際に「使う」ためには、単なる運動機能の改善だけでは十分とは言えない作業療法士は「動く手」を目標とするのではなく、生活の中で役割を果たす「使える手（Useful Hand）」を目指し、対象者の生活背景にあったセラピーを提供するところに、作業療法士の専門性がある。

手外科領域の専門性の基盤には、解剖学をはじめとした基礎医学的知識がある。手は非常に精緻な構造を有し、それぞれの指や関節には固有の機能的役割が存在する。例えば示指は摘み動作において中心的な役割を担い、摘み動作時には広い可動域よりも安定性が求められる場合がある。一方で小指は把握動作において重要であり、十分な屈曲可動域が得られない場合には握り込みが不十分となり、物品を把持していても落下につながることもある。そのため、小指では安定性よりも屈曲可動域の確保を優先する場面も少なくない。このように、すべての症例で一律に可動域の拡大を目指すのではなく、各指の機能的役割や患者の生活場面に応じた介入や目標設定が必要となる。

さらに作業療法士は、患者の職業や生活環境、社会的役割などを踏まえながら、対象者の希望を取り入れた目標設定を行うことが求められる。基礎医学的知識に基づいて機能を理解し、それを生活や作業の視点につなげて支援することこそが、手外科領域における作業療法士の専門性である。

本発表では、手外科領域において、解剖学をはじめとした基礎的な知識をしっかりと身につけることで、治療の考え方や目標設定の幅がどのように広がるのかを、実際の臨床を交えて紹介する。さらに、対象者の生活背景を踏まえた「使える手（Useful Hand）」を目指す中で、作業療法士としてどのような視点が大切なのか、そしてそれがOTの価値にどうつながるのかを考えたい。また、専門性を高めることは、学会活動や後輩の育成を通して、作業療法士全体の価値を高めることにもつながる。専門作業療法士は、自分が学ぶだけでなく、その経験を次の世代に伝え、挑戦しやすい環境をつくっていく役割があると考えている。本発表を通して、専門性を高めることの意味と、作業療法士としての価値について考えたい。



九州作業療法士 会長会

藤本 一博

茅ヶ崎中央病院



【略 歴】

2000年：愛知医療学院卒 作業療法士

2000年：茅ヶ崎新北陵病院

2006年：首都大学東京大学院人間健康科学研究科入学

2007年：認定作業療法士取得

2008年：首都大学東京大学院人間健康科学研究科修了 作業療法学修士

2025年：茅ヶ崎中央病院（現職）

5つのリーズニングによる理論とマネジメントの統合 ～MTDLPを動かすエンジンとしてのリーズニング～

日本作業療法士協会が推進する「生活行為向上マネジメント（以下、MTDLP）」は、対象者の「やりたい生活」を具現化するための優れたマネジメントツールである。しかし、多くの臨床現場において、MTDLPの活用が単なる「書類作成」に留まり、具体的な介入戦略の立案や理論的背景との乖離が生じている課題がある。本講演では、MTDLPの各プロセスに5つの臨床的リーズニング（物語的、科学的、实际的、倫理的、相互交流的）を統合し、理論を臨床実践へ変換するための思考プロセスとその意義を提示する。

MTDLPにおいて理論やリーズニングを用いる最大の意義は、「対象者のナラティブとエビデンスの統合」にある。インテークにおける物語的リーズニングは、人間作業モデル（MOHO）等の理論を背景に、単なる「情報」を「意味ある作業」へと昇華させ、マネジメントの方向性を決定づける。また、アセスメントにおける科学的リーズニングは、標準化された評価結果に根拠を与え、生活行為の獲得予測に客観性をもたらす。

さらに、5つのリーズニングを組み込むことで、「意思決定プロセスの可視化」が実現する。目標設定時の葛藤を倫理的リーズニングで整理し、本人との合意形成を相互交流的リーズニングで深めることは、セラピストの独りよがりな計画を防ぎ、対象者の主体性を引き出すマネジメントへと変貌させる。

本講演では、理論を「知識」として保持するだけでなく、MTDLPという枠組みの中でリーズニングというフィルターを通じ、いかに具体的な「戦略」へと変換すべきかを論じる。理論とリーズニングの統合は、MTDLPを単なる書式から、作業療法の専門性を担保し、対象者の人生を再構築するための「思考のエンジン」へと進化させるものである。

九州はひとつ！人がつながる士会活動を語ろう！！ ～ 人を育て、価値を創り出す作業療法を語ろう ～

○リーダー養成研修会とは

九州作業療法士会会長会では、各県士会会員の資質向上を目的に研修会を企画しています。リーダー養成研修会は2008年度に始まり、災害支援、組織マネジメント、人材育成など、時代の要請に応じてテーマを更新しながら、九州全体で“人を育てる文化”を築いてきました。

近年のアンケートでは、マネジメント論の深化、人材育成・後輩指導、AIを含む新たな運営手法、面談やメンタルヘルスなど実務的テーマへの関心が高まっています。作業療法士に求められる役割が拡大する中で、リーダー像は多様化し、現場に応じた学びの仕組みが求められています。

○今年のリーダー養成研修会について

本年度のテーマ「The VALUE」は、作業療法の価値がどのように育ち、どのように継承されるのかを問い直すものです。新人教育や中堅育成、人材不足、教育体制のばらつきなど、現場には多くの課題があり、VALUEを育てる仕組みづくりが必要とされています。

【話題提供】 光永 済 氏（長崎大学病院）
【司 会】 今田 達也 氏（沖縄県作業療法士会）

・話題提供テーマ

新人教育は個々の指導者の努力に依存するのではなく、組織的な教育システムやチーム支援が不可欠です。こうした環境の中で、臨床能力だけでなく、作業療法士としての価値観や姿勢が育まれていきます。作業療法のVALUEは、日々の実践と学びの積み重ねの中で形成されるものであり、新人教育はその基盤となります。また、人材育成は施設内で完結するものではありません。長崎県作業療法士会では、研修会や育成事業を通じて、施設を越えた学びの場を整備し、互いの経験を共有しながら成長できる環境づくりを進めています。地域全体でVALUEを育てる基盤として重要な取り組みです。

本企画では、臨床教育と士会活動という二つの視点を往復しながら、VALUEを育てる人材育成のあり方を考えます。続くグループワークでは、新人教育から中堅育成、組織の学習環境まで、多様な視点から意見交換を行い、明日からの臨床や組織づくりに生かせるヒントを共有します。

○参加者の皆様へ

他者の経験や視点に触れることで、自分の実践が新しい角度から見え、これまで気づかなかった可能性が立ち上がることがあります。今日の対話が、皆さまの臨床や組織の取り組みを再構成する契機となり、明日の実践に新たな視点と手応えをもたらすでしょう。多様な視点の交差が、明日の臨床にそっと新しい示唆と前向きな力を届けてくれることを期待しています。

「作業療法のVALUEは、人が育つことで育まれる。」

一般演題

優秀演題発表



4日（土）13:20～14:20 大スタジオ

座長 下里 綱（一般社団法人 沖縄県作業療法士会会長、医療法人 おもと会 大浜第一病院）

- SS-1 作業療法訓練に趣味のボクシングを取り入れたことで
麻痺手の運動主体感と使用頻度に改善がみられた一例
医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院 梶原 彩輝
- SS-2 PIP関節掌側板付着部剥離骨折に対する
伸展位固定下早期運動療法の治療成績の検討
溝口外科整形外科病院 川辺 啓
- SS-3 受動式フィットネスバイクを使用し、「中庭に歩いて行きたい」と
内発的動機づけが高まった慢性統合失調症患者の1例について
社会医療法人佐藤会 弓削病院 前野 純平
- SS-4 非言語的構成作業としての箱庭療法が
半側空間無視と失行の回復に寄与した脳卒中の一例
社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室 松田 隼門
- SS-5 脳出血後の手指しびれ感に対して
しびれ同調TENSが症状緩和および患肢の実用性向上に寄与した一例
社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室 松延 勇志
- SS-6 乳がん術後外来初回における肩関節可動域変化の特徴
～術式およびリンパ節手技別4群比較～
社会医療法人北九州病院 北九州総合病院 迎 藍

口述 I



4日（土）12:10～13:10 大スタジオ

座長 玉那覇 迅（医療法人 大平会 嶺井第一病院）

- O-I-1 化学療法誘発性末梢神経障害に加えて脳炎にてしびれ感が増強した症例に対して、
しびれ同調経皮的電気神経刺激が有用であった一例
社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院 黒木 一気
- O-I-2 「サッカー観戦」を参加目標とした介入が
行動変容およびADL改善を導いた回復期症例の一例
社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 後藤 貴祥
- O-I-3 ボツリヌス療法における外来リハビリテーションの取り組み
社会福祉法人柏芳会 田川新生病院 塚本 友也
- O-I-4 急性期における術前・術中評価を含む周術期作業療法を実施した覚醒下手術症例の一例
長崎大学病院 中川 祐
- O-I-5 感覚性運動失調を呈し食事動作に着目した症例
地方独立行政法人 那覇市立病院 比嘉 静空
- O-I-6 家事動作の再獲得に至った小脳性運動失調を呈した症例
～電気刺激療法下での課題指向型練習を通して～
社会医療法人令和会 熊本リハビリテーション病院 平川 拓実

口述Ⅱ



4日（土）14:30～15:30 大スタジオ

座長 宮城 若子

- O-II-1 回復期リハビリテーション病棟における褥瘡処置に伴う
身体的負担の構造的要因と支援機器導入の必要性
金城大学大学院 総合リハビリテーション学研究所 佐藤 翼
- O-II-2 LSVT BIG 実施後1年間の経過と短期ブースター介入によって
再改善を認めたパーキンソン病の一症例
社会福祉法人柏芳会 田川新生病院 田代 雄三
- O-II-3 「立位保持の恐怖感が強い患者に対する仮想現実（VR）技術を用いた試み」
～大腿骨転子部骨折術後の症例を通して～
医療法人社団東洋会 池田病院 福田 莉奈
- O-II-4 回復期脳卒中上肢麻痺患者に対するロボット訓練の有用性
～傾向スコアマッチングを用いた作業療法との比較～
医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル 藤本 皓也
- O-II-5 本人の希望を起点とした入力装置選択が就労につながったALS症例
医療法人平和会 平和会訪問看護ステーション 萬田 ふぎ
- O-II-6 SDGsを見据えた自助具作製の取り組み
熊本大学病院 宮本 忠司

口述Ⅲ



4日（土）15:40～16:40 大スタジオ

座長 渡久地 潤也（医療法人 緑水会 宜野湾記念病院）

- O-III-1 橈骨遠位端骨折術後におけるロコモティブシンドローム評価と身体機能変化の2例
株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部 栗原 将太
- O-III-2 MTDLPおよびADOCを用いた
生活行為目標の共有により自宅退院に至った大腿切断症例
社会医療法人敬和会 大分岡病院 重藤 ひかる
- O-III-3 MTDLPを活用したことで目標達成に向けての道筋が明確になり、
多職種や支援者への情報共有がスムーズに行えたことで、
退院後早期にグラウンドゴルフが再開できた事例
津久見市医師会立 津久見中央病院 首藤 直也
- O-III-4 通所リハにおけるMTDLP活用により単独での県外旅行を実現した一例
社会医療法人寿量会 通所リハビリテーションセンター清雅苑 濱田 俊彦
- O-III-5 再転倒による右大腿骨頸部骨折を呈した高齢者に対してMTDLPを用いた介入の一例
～新しい役割の獲得を目指して～
医療法人平成会 サンライズ酒井病院 松木 和歩
- O-III-6 地域包括ケア病棟に入院した
超高齢者（低栄養患者）の食事姿勢による食事量の変化について
医療法人社団東洋会 池田病院 山口 琴美

口述Ⅳ



5日（日）9:10～10:10 小スタジオ

座長 名嘉真 卓（医療法人 タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院）

- O-IV-1 統合失調症の認知機能改善と社会機能向上の一例
～精神科デイケアにて認知矯正療法の取り組み～
医療法人タピック 宮里病院 東江 音弥
- O-IV-2 自殺未遂による頸椎椎体骨折患者に対する作業療法
～ストレスコントロール・特性不安の理解に着目～
社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院 阿部 恵梨香
- O-IV-3 『作業療法美術館』とデジタル・アーカイブで作業療法に新たな価値を
～精神医療分野の作業療法のソーシャルデザイン～（作業療法スタイルアートシリーズ8）
在宅 金城 光政
- O-IV-4 成人発達障害患者に対する作業療法
～社会的コミュニケーションが著しく困難な発達障害者における作業療法の有効性～
医療法人社団桜珠会 可也病院 竹島 祐樹
- O-IV-5 「沖縄県内の精神科作業療法士管理職におけるキャリア形成の検討
～TEMによる経路構造の可視化と人材育成への探索的示唆～」
沖縄県精神科病院協会 作業療法士部会 玉城 亮
- O-IV-6 気分変動・幻覚・妄想症状を呈する症例に対し、
軽スポーツ活動を通して対人関係の再構築に至った一例
医療法人タピック 宮里病院 森田 大貴

口述Ⅴ



5日（日）9:10～10:10 大スタジオ

座長 金城 正也（社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院）

- O-V-1 スマートウォッチを用いて身体活動量を可視化した多発性骨髄腫患者への自主運動指導の一例
日本赤十字社 長崎原爆病院 阿南 君佳
- O-V-2 「娘の結婚式に行きたい」 ～父親としての役割獲得に向けた作業療法介入～
国立大学法人 大分大学医学部附属病院 リハビリテーション部 上田 悠豊
- O-V-3 デイサービスにおける終末期がん利用者への物語を紡ぐチーム支援
～SROT-TCを羅針盤としたスタッフ連携と本人・家族の意思決定を支える実践～
いきがいのまちデイサービス美里 志喜屋 奈津子
- O-V-4 乳がん術後早期における肩関節可動域変化と心理因子の関連
～PCSおよびHADSに着目して～
社会医療法人北九州病院 北九州総合病院 リハビリテーション科 下門 範子
- O-V-5 仮想現実技術を用いたリハビリテーション治療によりがん患者の
末梢神経障害の軽減や身体機能および生きがいを維持できた一例
地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 田代 裕太
- O-V-6 乳がん患者のアピアランスケアに対する作業療法士の認識：計量テキスト分析による予備的研究
公立佐賀中央病院 リハビリテーション科 縄手 雪恵

口述VI



5日（日）10:20～11:20 小劇場

座長 坂田 美紀（地方独立行政法人 那覇市立病院）

- O-VI-1 手関節背屈制限を認めた手指伸筋腱断裂術後症例に対しYokeパーツを使用したICAM変法の経験
社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院 大道 奈菜
- O-VI-2 玉井zoneⅣ複数指再接着術の治療経験
～屈筋腱剥離術によりPIP自動屈曲が得られた症例～
溝口外科整形外科病院 リハビリテーション科 片山 智裕
- O-VI-3 関節リウマチに対しSwansonによるMP関節置換術を実施し、巧緻操作が改善した一症例
社会医療法人敬愛会 ちばなクリニック 佐喜真 祥光
- O-VI-4 多数指の基節骨骨折後のPIP関節癒着剥離術と
ハンドセラピーにより手指機能改善と復職に至った一例
医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 座覇 政成
- O-VI-5 Dupuytren拘縮術後にキネシオテーピングを導入したことで、手指機能の改善および
QOLの向上に繋がった一例 ～趣味活動への左上肢の参加を目指して～
株式会社麻生 飯塚病院 原口 翔悟
- O-VI-6 PIP関節内開放骨折にZoneⅢ伸筋腱損傷を合併した複合損傷例に対して
早期運動療法にスプリント療法を併用し良好な成績が得られた一例
社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院 平田 佳祐

口述VII



5日（日）10:20～11:20 大スタジオ

座長 木下 匠（合同会社キングコング）

- O-VII-1 沖縄市通所型サービスCによる夫婦の協働的自立支援効果
：虚弱高齢者の活動恐怖と自己効力感改善プロセス
いきがいのまちデイサービス美里 上江洲 聖
- O-VII-2 当法人の介護部事業所合同で取り組んだ「ボッチャ大会」の
社会参加を通して参加者のQOLが向上した実践報告
医療法人春秋会 南長崎クリニック 小森 祐介
- O-VII-3 災害時の指定避難所における自立支援の実践
～令和7年大分市佐賀関の大規模火災における作業療法士の関わり～
独立行政法人地域医療機能推進機構 湯布院病院 佐藤 友美
- O-VII-4 親亡き後問題を抱えた50代男性の生活機能向上に向けた取り組み
～共生型自立訓練（生活訓練）を通して役割の獲得や社会スキルの向上に繋がった事例～
株式会社ライフファクトリー ライフデイサービス丸谷 高橋 莉恵
- O-VII-5 短期集中予防サービス（通所C事業）における機能改善と活動参加拡大の検証
：多角的評価指標を用いた3ヶ月間の効果判定
株式会社いきがいクリエーション 比嘉 彩乃
- O-VII-6 過疎地域高齢女性におけるオステオサルコペニアと認知機能との関連
町立太良病院 米田 香

口述Ⅷ



5日(日) 11:30～12:30 小劇場

座長 玉城 高信(社会医療法人 葦の会 オリブ山病院)

- O-Ⅷ-1 認知機能低下を伴う橈骨遠位端骨折後高齢者への多職種協働による自主練習支援の実践報告
：ADOC-DRFと動画教材の併用による行動変容支援の可能性

社会医療法人敬和会 大分岡病院 河野 真太郎

- O-Ⅷ-2 介護老人保健施設における認知機能の低下領域に着目した介入事例

介護老人保健施設 清雅苑 西 聡太

- O-Ⅷ-3 左半側空間無視および左同名半盲を併発した症例に対するラジコンカーを用いた介入
～身体遠位空間への注意配分と意図的探索行動に関する症例報告～

社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室 吉瀬 陽

- O-Ⅷ-4 宮古島における脳卒中後の自動車運転再開に向けた取り組み

沖縄県立宮古病院 金城 雄斗

- O-Ⅷ-5 急性期病院において生活習慣に基づく介入がBPSDに与える影響

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 リハビリテーション科 堀田 愛佳

- O-Ⅷ-6 台湾人失語症者に対する作業選択意思決定支援ソフト(ADOC)を用いた目標設定の一症例報告

社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 吉村 郁香

口述Ⅸ



5日(日) 11:30～12:30 大スタジオ

座長 土田 真也(医療法人 祥杏会 おもろまちメディカルセンター)

- O-Ⅸ-1 精神科領域における臨床実習指導者の現状と課題(意識調査)

沖縄リハビリテーション福祉学院 嘉数 栄司

- O-Ⅸ-2 精神障害領域作業療法教育における教えにくさの実態
～作業療法養成校教員を対象とした質問紙調査～

熊本保健科学大学 吉村 友希

- O-Ⅸ-3 当院における大腿骨近位部骨折術後患者の離床遅延の割合と特徴

一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 リハビリテーション課 大城 篤史

- O-Ⅸ-4 当院作業療法士の院内研修参加状況と阻害因子について

社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 加嶋 優希

- O-Ⅸ-5 放課後等デイサービスにおけるVirtual Reality技術を取り入れた事業所運営について

株式会社TUNAGU ADL plus 運動療育支援MIRAI 黒木 雄大

- O-Ⅸ-6 介護現場の生産性向上に向けた腰痛の実態調査

学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校 藤田 賢太郎

- P-I-1 食事動作に着目した右半側空間無視患者に対するVRでの評価、アプローチ
特定医療法人茜会北九州市立門司病院 岩代 賢人
- P-I-2 多彩な高次脳機能障害によって身体イメージ低下を呈した患者に対して、
介入の工夫を行ったことで在宅復帰が可能となった一例
医療法人熊愛会 熊本脳神経外科病院 熊ヶ迫 愛
- P-I-3 中心性頸髄損傷(C4/5不全麻痺)を乗り越え、准看護師として復職した一症例に対する介入
医療法人山部会 くまもと成城病院 花村 愛海
- P-I-4 脳皮質下出血後身体失認を呈した症例に対しrealtime video feedback を
併用した機能訓練により麻痺側上下肢のADL時の不使用が改善した一例
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 前田 朝規
- P-I-5 結核隔離下におけるデジタルセルフトレーニング導入による活動量維持の試み
～ActiGraphを用いた作業療法の一考察～
長崎大学病院 光永 済
- P-I-6 地域密着型病院の急性期病棟におけるリハビリテーションの予後予測評価の必要性
医療法人財団華林会 村上華林堂病院 久保 佑亮
- P-I-7 頸髄損傷重度麻痺を呈し、介入に難渋した症例 ～自助具を通して意味のある作業を～
一般社団法人巨樹の会 新武雄病院 西崎 将司
- P-I-8 学校・地域におけるがん教育支援活動の実践と作業療法士の関与
～NPO法人沖縄がん教育サポートセンターの活動報告～
医療法人はごろも会 那覇ゆい病院 島袋 枝梨子
- P-I-9 作業療法作品の「高付加価値化」とセカンドキャプションについて
(作業療法スタイルアートシリーズ6)
医療法人天仁会 天久台病院 照屋 盛之
- P-I-10 メタ認知トレーニングの実践報告
～思い込みに気づき、対人関係の改善に繋がった事例～
医療法人タピック 宮里病院 神山 和
- P-I-11 気持ちに寄り添った禁煙支援を通して
喫煙行動と意識の変化が認められた統合失調症の一例
医療法人タピック 宮里病院 友利 要
- P-I-12 集団療育と個別療育を併用し、チームで包括的な支援に取り組んだ事例
～CO-OPアプローチでわくわく作戦～
株式会社サクラパイオ 音楽特化型児童発達支援・放課後等デイサービス
グッジョブリズム 内 紅季

- P-I-13 書字動作に困難を呈するASD児(DCD特性を伴う)への介入
～VRを用いたトップダウンアプローチのBABデザインによる検討～
株式会社TUNAGU ADL plus 運動療育支援MIRAI 小柳 萌恵
- P-I-14 人生の最終段階にある高齢者のやりたいことにチームで挑戦した事例
株式会社いきがいクリエーション 辺土名 奎杜
- P-I-15 パーキンソン病によるすくみ足を呈した方に
末梢磁気刺激を実施しADLに影響を与えた一事例
医療法人畏敬会 井野辺病院 岩村 匡洋
- P-I-16 意味のある作業の再獲得が主体的参加を促した一症例
～片麻痺に肩腱板断裂を合併した症例へのMTDLPの実践～
公益社団法人 福岡医療団 千鳥橋病院
リハビリテーション技術部 作業療法科 小倉 七海
- P-I-17 「沖縄特化 | 就労と社会生活に関する応援ノート」を活用した回復期病棟患者の社会復帰支援
社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 伊保 幸彦
- P-I-18 意図的關係モデルを用いた治療的モードの調整が
高齢者の作業参加の拡大に至った一事例
社会医療法人寿量会 熊本機能病院 木原 翔太
- P-I-19 当事業所のサービス・活動Cの取り組みと支援前後の比較検討
株式会社ライフリー デイサービス楽 二目川センター 児玉 隆典
- P-I-20 行政委託による認知症予防リーダー養成講座の工夫と成果
～受講後の地域活動参加を促す取り組み～
医療法人下地診療所 アルケー・クラセー那覇 長濱 裕樹
- P-I-21 当院におけるOT専門性教育 ～取り組み報告～
医療法人おもと会 大浜第一病院 大田 守悟
- P-I-22 当院におけるリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算取得に向けた
取り組みと作業療法士の可能性と課題
医療法人 厚生会 小原病院 橋口 大毅
- P-I-23 当院地域包括医療病棟におけるリハビリ専従の役割と今後の課題
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 仲真 義人
- P-I-24 「タスクシェア・シフト×障がい者雇用」で実現した業務再設計
～デイケアにおける間接業務の棚卸とOTが果たした役割～
医療法人おもと会 デイケアセンターあめくの杜 吉嶺 綾乃

- P-II-1 左手と左足での運転能力の変化について
～3か月後の再評価で改善がみられた事例報告～
医療法人おもと会 大浜第二病院 枝川 卓志
- P-II-2 切れ目のない医療・介護の提供により自動車運転再開と社会復帰を果たした一症例
～多職種協働による包括的支援の重要性～
社会医療法人天神会 古賀病院 佐藤 志津子
- P-II-3 上肢機能・立位バランス能力低下を呈した四肢麻痺症例に対し、
残存能力を活用した改良ズボンを作成し下衣操作の自立を図った一例
医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院 福田 健晴
- P-II-4 右中大脳動脈閉塞症で運動失調を呈した一例
地方独立行政法人 那覇市立病院 宮城 有輝
- P-II-5 心肺停止後症候群による短期記憶障害を呈した症例への関わりと支援
医療法人 沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 與座 章
- P-II-6 母指CM関節症に対する保存療法が心理的側面に与える影響
秋吉整形外科 小窪 雄介
- P-II-7 TKA術前後患者に対してCOPMおよびPROMsを用いて
課題指向型アプローチを実践した一症例
社会医療法人敬和会 大分岡病院 南園 魁哉
- P-II-8 「ものづくり」から「価値づくり」へ
～「作業療法作品」の紹介（各種技法）と作品の「価値化」について～
（作業療法スタイルアートシリーズ 5）
医療法人天仁会 天久台病院 金城 美紀
- P-II-9 訪問看護先で作品制作すること／その「アート価値」
はじめての訪問看護＜戸惑いと不安＞を整理する
（作業療法スタイルアートシリーズ 7）
なごこころのクリニック 金城 明美
- P-II-10 病棟移動を伴う症例に対し情報共有を通して
継続的に関わり退院支援に繋げた事例を振り返る
医療法人横田会 向陽台病院 田端 杏純
- P-II-11 HTPPテストを利用したデイケア利用者の心理的变化の追跡
医療法人社団緑風会 水戸病院 松本 信雄
- P-II-12 本児の意味のある作業の言語化がチーム協働を促進したプロセス
～本人同席会議を用いた学校作業療法の一事例～
こどもセンターゆいまわる 具志堅 奈利子

- P-II-13 沖縄県作業療法士会こども支援推進部における支援活動の実際
～相談対応・人材育成・特別支援教育への協力を通して～
社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会 沖縄南部療育医療センター 末吉 静香
- P-II-14 家族の心の変化が自宅退院に繋がった症例
社会医療法人帰巖会 みえ病院 本山崎 将仁
- P-II-15 伴走支援型「介護生産性向上」の実際と作業療法士の役割
～特養における移乗支援ロボット導入事例からの報告～
鹿児島大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻 吉満 孝二
- P-II-16 その方らしい在宅生活を支援する多職種連携
～今後の生活のために自動車運転再開、就労へ向けた取り組み～
社会医療法人玄州会 光武内科循環器科病院 久家 穂乃花
- P-II-17 モーニングケアを取り入れた介入が生活リズムの改善やADL向上に寄与した症例
医療財団法人華林会 村上華林堂病院 岩野 実和
- P-II-18 地域リハビリテーション活動支援事業での作業療法士の関わり
一般社団法人糸島医師会 糸島医師会病院 久保山 ひろみ
- P-II-19 「養成」ととどまらないシニアサポーター活動を目指して
～地域介護予防事業における構造的課題の再考～
医療法人おもと会 大浜第一病院 新里 修静
- P-II-20 障害福祉サービスでの若年層脳血管疾患患者の退院後の訓練
～共生型自立訓練(生活訓練)での取り組みと今後の可能性～
株式会社ライフファクトリー ライフデイサービス丸谷 兵頭 大翔
- P-II-21 リハ・栄養・口腔連携体制加算への専従作業療法士の関与
～多職種協働による多角的介入と病棟文化への波及～
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 蔵當 大騎
- P-II-22 九州作業療法士会会長会 九州作業療法運転と移動支援委員会
～九州での連携の意味と意義～
株式会社 輝く羽 西 綾
- P-II-23 患者用クリニカルパスの可視化・共有化とアウトカムバリエーションの変化
～作業療法士が中心となって作成したUKAパスの検討～
医療法人博慈会 内田病院 藤末 隆

- P-Ⅲ-1 機械学習を用いた脳卒中患者の運転技能に関連する認知機能についての検討
医療法人畏敬会 井野辺病院 加藤 貴志
- P-Ⅲ-2 胃がん術後合併症を伴う低酸素脳症症例に対する
多職種連携と作業療法介入によるADL機能改善の一例
医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 永山 有紗
- P-Ⅲ-3 「あそこに花植えたらよさそうね」 ～社会復帰に向けたお花畑大作戦～
一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院 古川 晴大
- P-Ⅲ-4 キーボード演奏を用いた介入により左側の注意が拡大し
食事動作の改善を認めた半側空間無視患者の事例
医療法人社団知心会 一ノ宮脳神経外科病院 山田 慎太郎
- P-Ⅲ-5 心不全に間質性肺炎を合併した症例に対し多職種協働で支援を行った 1例
那覇ゆい病院 仲村 宏樹
- P-Ⅲ-6 手指MP関節伸展拘縮により、当院の地域包括ケア病棟へ入院し、
重要な活動の獲得に挑んだ事例
独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院 中屋 公汰
- P-Ⅲ-7 信念対立により自宅復帰が難渋した独居症例に対する
OBP2.0を用いた評価とアプローチの有効性
医療法人財団華林会 村上華林堂病院 柴田 さおり
- P-Ⅲ-8 作業療法室および作業療法作品の「価値」と「価値化」について
（作業療法スタイルアートシリーズ 4）
フリーランス 桑江 良貴
- P-Ⅲ-9 精神科急性期治療病棟における精神科デイケア体験プログラム導入の取り組み
医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院 石川 章旗
- P-Ⅲ-10 グループスタッフが患者集団に与える影響
～グループ運営におけるOTの役割を振り返って～
医療法人社団豊永会 飯塚記念病院 東條 学
- P-Ⅲ-11 双極性障害と脳梗塞を合併し患者に対する急性作業療法
長崎大学病院 山下 真生
- P-Ⅲ-12 幼児の身体的不器用さに対する保護者と支援者の認識差
～Check-CDを用いた予備的検討～
熊本保健科学大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 小手川 耕平

- P-III-13 学校へ行きたい気持ちのある不登校児童に対し、放課後等デイサービスを中心に支援した事例
こども発達サポート Waはーと 仲村渠 鈴音
- P-III-14 OTの可能性を広げよう！ 3Dプリンタによる自助具作製が在宅復帰に寄与した一症例
特定医療法人社団春日会 黒木記念病院 岩田 彩菜
- P-III-15 「掃除がしたい」アテローム血栓性脳梗塞患者に対する取り組み
～MTDLPの部分活用～
医療法人心々和会 佐世保国際通り病院 内野 保則
- P-III-16 当院の「自動車運転リハビリ」から生まれた地域への出張講座の取り組みについて
～安全運転延伸と気づきの促しを地域へつなげる取り組み～
医療法人健康会 霧島記念病院 井上 勇人
- P-III-17 地域で繋げる自動車運転・移動支援
～佐伯市の取り組み～
社会医療法人小寺会 佐伯中央病院 甲斐 亨
- P-III-18 園芸作業療法概念を活用した司法領域への社会的アプローチ
～大分刑務所における一例～
平松学園 大分短期大学 小石 鉄兵
- P-III-19 短時間通所リハビリテーションにおける修了者・利用継続者の調査結果
医療法人松城会 隼人温泉病院 中西 徹矢
- P-III-20 離島支援の実践から考える“支え方をつくる”地域リハビリテーション
医療法人おもと会 大浜第一病院 吉嶺 浩
- P-III-21 「養成校×臨床現場」
～養成校と協働したICF指導における新人教育モデル～
医療法人おもと会 大浜第一病院 新里 光
- P-III-22 人材不足の時代に「見える作業療法」をどう届けるか
～沖縄県作業療法士会事業部の広報活動における実践報告～
一般社団法人 沖縄県作業療法士会 野村 龍一
- P-III-23 新入職員研修における危険予知能力評価TP-KYTの活用
～主観的評価とリスク低減効果の検討～
公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院 リハビリテーション技術部 本多 亮平

運営組織図

三役	学会長	下里 綱	医療法人 おもと会 大浜第一病院
	副学会長	比嘉 靖	沖縄県立北部病院
	実行委員長	澤田 歩	地方独立法人 那覇市立病院
	副実行委員長	長濱 裕樹	医療法人 下地診療所 機能特化型デイサービス アルケーるクラセーる那覇
学術局	学術局長	安村 勝也	医療法人 タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院
	企画部長	下里 わかな	那覇市地域包括支援センター安里
	部員	上前 奨伍	YUIMAWARU株式会社
	査読部長	宗像 眺美	学校法人 智帆学園 琉球リハビリテーション学院
	編集部長	中村 綱太	株式会社WANSTYLE
	部員	天久 藍	学校法人 智帆学園 琉球リハビリテーション学院
	部員	慶留間 智貴	医療法人 タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院
運営局	運営局長	上江洲 聖	株式会社 いきがいきクリエーション
	運営委員	吉岡 美和	医療法人 おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院
	運営委員	吉嶺 浩	医療法人 おもと会 大浜第一病院
	運営委員	東江 音弥	医療法人 タビック 宮里病院
	運営委員	多和田 翼	医療法人 タビック 宮里病院
	運営委員	當眞 大夢	医療法人 タビック 宮里病院
	運営委員	友利 要	医療法人 タビック 宮里病院
	運営委員	森田 大貴	医療法人 タビック 宮里病院
	運営委員	朝倉 賢祐	医療法人 タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院
	運営委員	座覇 政成	医療法人 ちゅうざん会 ちゅうざん病院
	運営委員	伊佐 綾乃	学校法人 智帆学園 琉球リハビリテーション学院
	運営委員	志喜屋 奈津子	株式会社 いきがいきクリエーション
	運営委員	仲村渠 鈴音	株式会社 いきがいきクリエーション
	運営委員	屋嘉部 一貴	地方独立法人 那覇市立病院
	運営委員	坂田 美紀	地方独立法人 那覇市立病院
	運営委員	宮城 侑輝	地方独立法人 那覇市立病院
	運営委員	比嘉 静空	地方独立法人 那覇市立病院
	運営委員	新垣 太樹	名護市スポーツリハビリテーションセンター SpoRC
	運営委員	金城 めぐみ	訪問看護エ・イ・ド
	運営委員	小原 鑑善	一般社団法人 はくまーる
事務局	事務局長	今田 達也	ウイングアーク1st株式会社
	総務部長	大田 守悟	医療法人 おもと会 大浜第一病院
	総務副部長	末吉 静香	沖縄南部療育医療センター
	財務部長	山城 峻	
	広報部長	知念 はるひ	株式会社 いきがいきクリエーション
	広報副部長	富盛 真太郎	医療法人 おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院
	部員（SNS運用）	松本 芽衣	地方独立法人 那覇市立病院
	部員（デザイン）	末吉 莉菜	医療法人陽心会 大道中央病院
	渉外部長	永山 聖名	SkyTriad合同会社
	渉外副部長	枝川 卓志	医療法人 おもと会 大浜第二病院
	レセプション企画	坂本 将史	認定NPO法人 侍学園スクオーラ・今人 沖縄校

後援団体一覧

沖縄県

那覇市

一般社団法人 沖縄県医師会

一般社団法人 沖縄県歯科医師会

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

一般社団法人 沖縄県精神科病院協会

公益社団法人 沖縄県看護協会

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

一般社団法人 沖縄県言語聴覚士協会

公益社団法人 沖縄県栄養士会

一般社団法人 沖縄県社会福祉士会

一般社団法人 沖縄県介護福祉会

沖縄県介護老人保健施設協議会

社会福祉法人いなほ会 介護老人保健施設信成苑

公益社団法人 沖縄県介護保険広域連合会

公益社団法人（沖縄支部） 認知症の人と家族の会

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会

一般社団法人 沖縄県歯科衛生士会

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

一般社団法人 日本作業療法士協会

一般社団法人 日本福祉用具供給協会

沖縄テレビ放送株式会社

琉球放送株式会社

琉球新報株式会社

株式会社沖縄タイムス社



協賛企業 一覧

株式会社ケアウィル
医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院
DUPLDEC株式会社
株式会社SANNMATSU
イーノ株式会社
社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会
医療法人徳洲会 中部徳洲会病院
医療法人タピック
株式会社沖縄メディコ
沖縄綿久株式会社
WHILL株式会社
タイラ製麺所株式会社
株式会社WANSTYLE
医療法人下地診療所
義肢工房琉球
酒井医療株式会社
e-no株式会社
株式会社mediVR
FrontAct株式会社
サトウ株式会社

SMOVE

手指リハビリテーションシステム

SMOVEは、脳血管疾患などにより手指運動機能が低下した患者様を対象に開発された小型・軽量の手指リハビリテーションロボットです。筋電位センサにより運動意図を検出し、意図に応じた手指の屈曲・伸展運動をアシストします。



■特徴

- ・筋電トリガー制御により運動意図に応じた訓練が可能
- ・3つのトレーニングモードを搭載
- ・小型軽量構造で様々な肢位で使用可能
- ・ADL動作を想定した反復訓練が可能



多職種連携・チーム医療を 重視する作業療法士 募集中！

海と空に囲まれた沖縄で
地域に寄り添う医療を

全国に広がる徳洲会グループのスケールメリット、沖縄という地域ならではの温かさを併せ持つ中部徳洲会病院。作業療法士として、幅広い症例・多職種連携・充実した教育体制のもと、確かな経験とスキルを積むことができます。「沖縄で働きたい」「全国で通用する力をつけたい」そのどちらも叶えられる場所。

医療法人徳洲会

中部徳洲会病院

☎ 098-932-1110

〒901-2393 沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地



INSTAGRAM



作業療法士



パンフレット

NEW

関節可動域の測定、お困りではありませんか？

デジタルゴニオメーター はかどる

測定後の
「手間」を、
0秒に



企業展示ブースで
実機デモ実施中！



NEW 下肢荷重計が新しくなりました！

リハビリの質を上げる

下肢荷重計
そくまる+



歩行中の荷重量が
見える、聞こえる！

ito-kichi
いときち

DUPLODEC株式会社
ヘルスケア事業部

〒649-6551
和歌山県紀の川市上田井353

☎ 0736-79-7095

商品の詳細は
こちらから



夏のカサカサ、むずむずに 毎日使う石けんをウコン入りに変えるだけで



背中のかゆみ



わきの
モワァ〜



かかとのカサカサ



下着の擦れ

うれしい声がいっぱいなんです。

毎日のように電話やハガキで沖縄の皆様から感動のお声が届いています。「家族にも使わせたい!」とプレゼントに選ぶ方も続々増えています! 他にも多くのお声を紹介中! ▶



2月16日(月) T.S.様 女性 那覇市

「洗う」と「ケア」が同時にできるウコン石けんってすごいですね。特に脇、膝の裏あたり。それに植物由来の石けんということでデリケートゾーンにも安心して使えるのが嬉しいです。ニオイが気にならなくなり毎日が楽しくなります。顔のブツブツはこれから期待!

2月18日(水) K様 70代女性 豊見城市

とてもいいです。敏感肌で常にカサカサ肌だったけどこの石けんを使うようになってツルツルしてきた。今は洗顔だけでなく体にも使用しています。

2月20日(金) A.Y.様 女性 うるま市

72歳、主人と使ってます。乾燥肌で悩み続けている時、広告をみて試しました。体全体の乾燥がだいぶ落ち着き、特に足の力カトのヒビ割れ、カサカサがいい感じになったことには驚きました。

2月27日(金) E.C.様 女性 読谷村

朝晩2回ウコン石けんを顔で洗ったら、肌がすべすべつるつるに。主人や久しぶりにあった小学生の孫にも肌を褒められました。シミに期待して試していますが、少しいい感じがしています。

2月28日(土) E.F.様 女性 沖縄市

かゆみが気にならなくなってびっくりしました。ウコンってすごいですね。加齢によるアレルギーで口の周りもブツブツになって1年ぐらい。ウコン石けんを使ったら洗顔後パリパリしていたのがしっとりする感じがします。

3月11日(水) T.W.様 女性 本部町

顔も全身もかゆくて、寝ている時に無意識にかいて傷だらけで翌朝ビックリ!ということもありました。ウコン石けんを使ってみるとスベスベでとても気に入っています。

「洗う」と「ケア」が 同時に叶う ウコンの石けん



1個70g 定価1,800円

約
1ヶ月分

100%沖縄県産ウコン使用

本日会場限定 先着100名様に プレゼント 実施中。

今日、申し込みできなかった方はこちらで

e-no
イーノ株式会社

0120-430-961

受付時間:午前9時〜午後5時(日曜休み)



Webサイトからのお申し込みはコチラ!

イーノショップ 検索

<https://e-noshop.com>

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志
1-2-24 琉球セントラルビル6階

個人情報のお取り扱いについて: お客様の個人情報は、厳重管理のもとに保管し、個人情報保護を遵守します。<利用目的>商品発送の他、カタログやDMの送付、お客様に有益と思われる情報提供などにご使用させていただく場合がございます。個人情報に関するお問い合わせは、0120-430-961



社会福祉法人 沖縄肢体不自由児協会 沖縄南部療育医療センター



【入所部門】

医療型障害児入所 療養介護事業

【外来・通所部門】

児童発達支援センターわかたけ 保育所等訪問支援事業所わかたけぐんぐん

生活介護事業所たいよう 短期入所事業 日中一時支援事業 相談支援事業みらい

【沖縄県委託事業】

沖縄県医療的ケア児支援センター 沖縄県障害児等療育支援事業

私たちは利用者及びその家族の意向を尊重して、多様な福祉・医療サービスが総合的に提供されるよう創意工夫し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ地域社会の中で健やかに育成されるよう支援します。

〒902-0064

沖縄県那覇市寄宮2丁目3番1号

電話 (098) 832-3283 Fax (098) 835-1291



サトウ株式会社

福祉用具 レンタル・販売



営業種目

- 福祉用具のレンタル・販売
- 福祉用具の消毒・メンテナンス
- マットレスの洗浄及び消毒
- 住宅改修

本 社

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜2丁目13-12
TEL(098)898-8703 FAX(098)898-8701

宜野湾営業所

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜5丁目5番12号 1F
TEL(098)898-8700 FAX(098)898-8707

那覇営業所

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅3丁目20-22(1F)
TEL(098)868-8955 FAX(098)868-8966

うるま営業所

〒904-2214 沖縄県うるま市安慶名1丁目4-4
TEL(098)923-2565 FAX(098)923-2575

名護営業所

〒905-0017 沖縄県名護市大中四丁目1番30号
TEL(0980)54-0294 FAX(0980)54-0394

八重瀬営業所

〒901-0401 沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平796-1
TEL(098)840-7280 FAX(098)840-7281

沖縄営業所

〒904-2161 沖縄県沖縄市古謝3-17-12
TEL(098)987-8073 FAX(098)987-8074

西原営業所

〒903-0126 沖縄県中頭郡西原町字棚原1-20-14-101
TEL(098)988-1841 FAX(098)988-1842

ケアプランサトウ

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜2丁目13-12 2F
TEL(098)870-2772 FAX(098)870-2778

商品管理センター

〒904-2231 沖縄県うるま市字塩屋459番地1
TEL(098)923-3126 FAX(098)923-3127

お気軽にお問い合わせ下さい!



旅行中の方でも
お気軽にレンタルできます。



Medico

すべてはみんなの笑顔のために

【本 社】 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3-3-11 TEL (098) 876-5280
【中部支店】 〒904-2142 沖縄県沖縄市登川1202-1 TEL (098) 987-8123



健康と快適の明日を考える

沖縄綿久寝具株式会社

MEDICAL CORPORATION

TAPiC



沖縄リハビリテーションセンター病院



宮里病院

THE VALUE

作業療法の価値を信じ、共に未来へ

**簡単作成・素早く固定
やさしく矯正**

65℃～75℃のお湯で柔らかくなる低温熱可塑性のプラスチック。
アクアブラストは100%の形状記憶性で誰でも簡単に作成できます。

形状記憶性スプリント素材 アクアブラスト-T

Rolyan®

Splinting Materials

軟化成形型副木 手指足指用・届出番号 1352X00081000014

Rolyanは、ハンドセラピーを中核とするスプリントマテリアルのトップブランドです。



各種スプリントの作り方を動画で公開中！

酒井医療 スプリント簡易動画



人気
NO.1
ロングセラー



SAKAImed

酒井医療株式会社 福岡営業所
福岡県大野城市瓦田 5-3-29 3 階 〒816-0932
TEL : 092-588-9331 www.sakaimed.co.jp

九州作業療法学会 2026in沖縄 成功を応援しています。



義肢工房琉球

PROSTHETICS & ORTHOTICS



〒904-2174 沖縄県沖縄市与儀4丁目11-24

TEL 09019490418 FAX 0989936034

mail:jsayositaka@gmail.com

代表者 義肢装具士 伊佐義隆

楽しみながら脳を鍛える、次世代の認知機能トレーニング

FunXingQ (ファンシンキュー)

日本のグローバルヘルスケア企業・エーザイコリアとの共同実証試験、そしてEUMC(梨花女子大学ソウル病院)との臨床試験を通じて認知機能向上における有効性が確認されています。



科学的に設計されたトレーニングにより、脳の36の細部領域を総合的に活性化。多様な認知機能を同時に強化することが可能。

独自の認知機能テスト「X-VPCT」搭載、ユーザーの「認知能力特性」が脳領域ごとに可視化。個別データの記録・分析も可能。



展示ブースで体験できます！！



医療法人 下地診療所

内科 外科 胃腸科 肛門科 リハビリ科 禁煙外来

〒906-0304 沖縄県宮古島市下地字上地 634-1
TEL 0980-74-7878 FAX 0980-74-7272
URL shimoji-cl.com

下地診療所グループ

- | | |
|---------------------|---|
| 通所リハビリセンター |  機能特化型デイサービス
ALPHA クラセ-α |
| 病児保育センター |  機能特化型デイサービス
ALPHA クラセ-α那覇 |
| グループホーム来間 |  企業主導型保育事業
ALPHA たけあら保育園 |
| 居宅介護支援事業所
ホスピプラン |  生活特化型デイサービス
ALPHA クラセ-α下地 |
| 福祉用具専門店
リハショップ宮古 | |



近距離モビリティ WHILL (ウィル)



Model R



Model C2



勉強会や試乗会のご依頼お待ちしております！

勉強会申込フォーム



勉強会の様子(note)



お問い合わせ先：070-4818-0987 (九州/沖縄担当 岩垣)



タイラ製麺所

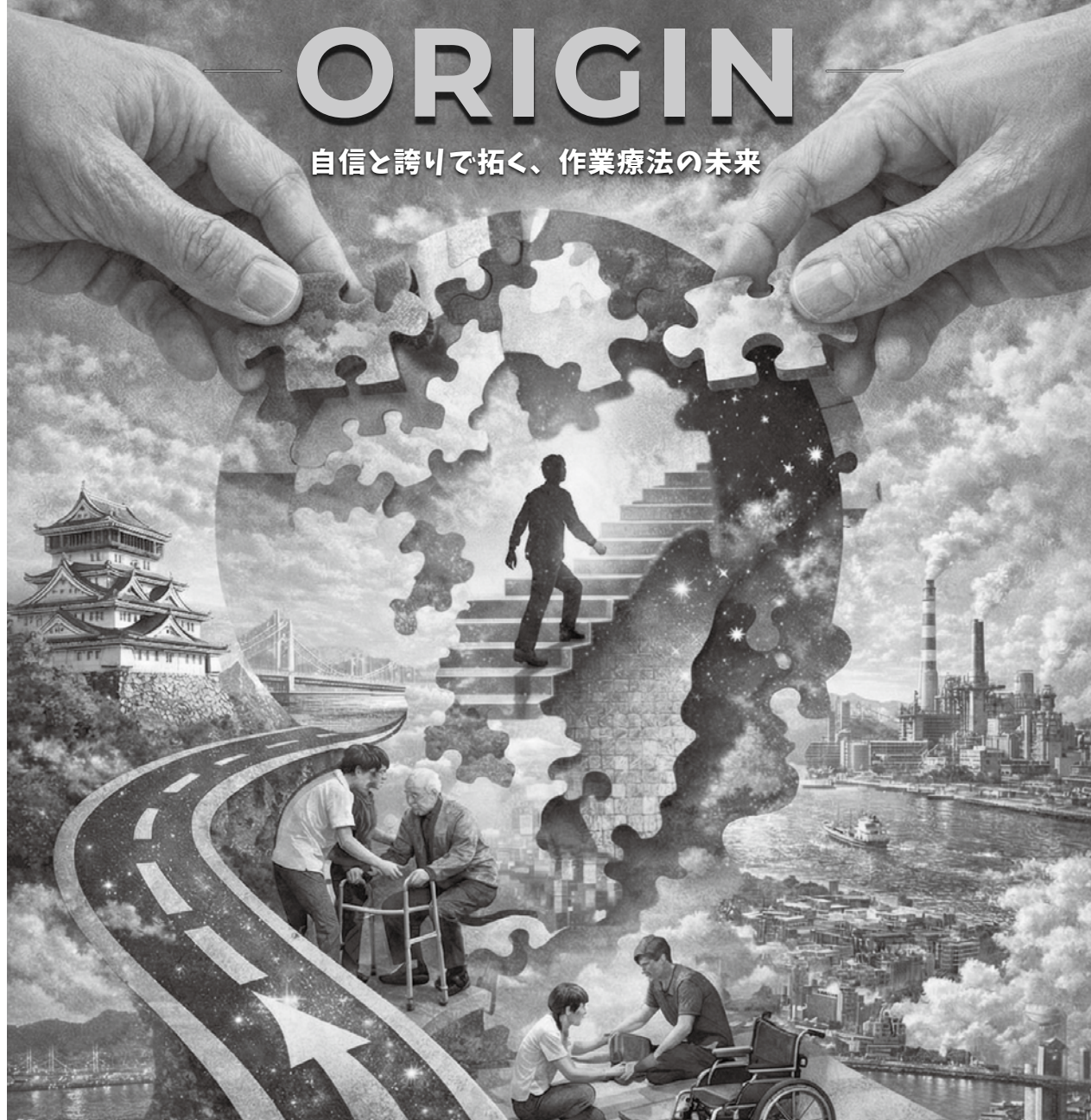
Taira Noodle Factory

次期開催予定

九州作業療法学会 2027IN 福岡

ORIGIN

自信と誇りで拓く、作業療法の未来



会期 2027年7月10日（土）～11日（日）会場 北九州国際会議場

学会長 靱井 剛士

主催 九州作業療法士会会長会

九州作業療法学会2026 in 沖縄

発行者：九州作業療法士会会長会

事務局：九州作業療法学会 2026 in 沖縄 事務局

〒903-0804

沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1

（一社）沖縄県作業療法士会内

TEL：098-988-3711

E-mail：kyusyugakkai2025@gmail.com

印刷：南風印刷なんふう

〒901-1116

沖縄県島尻郡南風原町字照屋 368

TEL：098-888-1870

誇れる仕事でプロになる

- **作業療法学科**
昼間3年課程/定員30名
- **理学療法学科**
昼間3年課程/定員60名
- **言語聴覚学科**
昼間3年課程/定員30名
- **介護福祉学科**
昼間2年課程/定員40名
- **看護学科**
昼間3年課程/定員80名

100%達成!!

2025年度卒業生
作業療法士・言語聴覚士
国家試験全員合格

入学時iPadを無料配布
ICTを活用した教育プログラム

作業療法士

理学療法士

言語聴覚士

チーム
医療

介護福祉士

看護師

沖縄県内唯一の
5職種学科

文部科学大臣告示 職業実践専門課程認定

 **医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院**
学校法人おもと会 沖縄看護専門学校

〒901-1393 沖縄県与那原町字板良敷1380-1

TEL 098-946-1000

The VALUE

まくとろそ〜け〜
なんくるないさ〜

